

消 防 年 報

(令和 2 年版)



喜多方地方広域市町村圏組合消防本部

は じ め に

この年報は、令和2年中における喜多方地方広域市町村圏組合の主な消防事象を統計的に収録し、消防行政の実態を紹介したものです。

なお、火災・救急・救助の統計については暦年により、その他の関係業務事項については会計年度をもって表していますが、表中年月日を明示したものは、その時点での現況です。

令和3年4月

喜多方地方広域市町村圏組合消防本部

一 目 統 計

令和3年4月1日現在

面 積	人 口	世 帯 数	署 所 数
			
圏内面積 1,086.89km ²	圏内人口 54,917人	圏内世帯数 20,450世帯	消 防 本 部 1 消 防 署 2 分 署 2
消防職員数	消防団員数	消防車両数	防火対象物数
			
条 例 定 数 110人 実 数 106人 平均勤続年数 17.4年 平 均 年 齢 38.2歳	条 例 定 数 2,074人 実 数 1,741人	ポンプ 車 6台 化 学 車 1台 救助工作車 1台 救 急 車 6台 災害支援車 1台	防火対象物数 2,399対象物 危険物施設数 399施設
火 災	救 急	救 助	出 火 原 因
			
火 災 件 数 25件	出 動 件 数 2,601件	出 動 件 数 24件	1 位 放火・放火の疑い 2 位 たき火 3 位 電気配線関係・たばこ

※(火災、救急、救助、出火原因にあつては、令和2年中)

目 次

【消防概要】

1. 消防の沿革	1～8
2. 圏域の概要	9
3. 喜多方地方広域市町村圏組合管轄内市町村別面積・人口・世帯数	10
4. 喜多方地方広域市町村圏組合消防機構図	11
5. 消防本部・署の事務分掌	12～14
6. 消防力の整備指針と現況	15
7. 消防庁舎の現況	16
8. 歴代消防長・消防署長	17
9. 隣接消防機関相互応援協定締結状況	18

【総 務】

1. 令和2年度喜多方地方広域市町村圏組合一般会計予算	19
2. 消防職員配置状況	20
3. 階級別勤続年数別消防吏員数	21
4. 階級別年齢別消防吏員数	21
5. 消防職員研修実施状況	22
6. 消防職員資格取得状況	23
7. 消防車両の配置状況	24

【予 防】

1. 防火対象物の現況	25
2. 防火対象物定期点検報告制度に係る該当対象物数	26
3. 防火対象物立入検査実施状況及び防火管理者選任状況	27
4. 予防関係条例届出状況	28
5. 防火対象物別建築同意処理状況	29
6. 市町村別建築同意処理状況	30
7. 年度別建築同意処理状況	30
8. 消防用設備等届出処理状況	31
9. 危険物製造所等の現況	32
10. 危険物製造所等の立入検査実施状況及び保安監督者選任状況	32
11. 危険物施設の許可等の件数	33
12. 幼年消防クラブ一覧表	34
13. 少年消防クラブ一覧表	34
14. 女性防火クラブ一覧表	34
15. 自主防災組織一覧表	35

【警 防】

1. 消防訓練実施状況	36
2. 警防関係条例届出状況	37
3. 消防水利の状況	37
4. 火災・救急・救助・災害等覚知別状況	38

【火 災】

1. 火災出動状況	39
2. 火災総括表	40
3. 署別火災状況	40
4. 火災の状況	41
5. 火災の内訳	42
(1) 火災種別出火件数及び損害額	42
(2) 原因別出火件数	42
(3) 曜日別出火件数	42
(4) 月別出火件数	42
(5) 時間別出火件数	42
6. 覚知別火災件数	43
7. 過去10年間の市町村別火災発生件数	43
8. 主な火災誌	44-1～44-6

【救 急】

1. 救急出動状況	45
2. 署別救急出動件数・搬送人員	45
3. 事故種別救急出動件数(月別)	46
事故種別救急出動件数割合	46
4. 事故種別出動件数(時間別)	47
5. 市町村別出動件数(事故種別)	48
6. 市町村別出動件数(月別)	48
7. 市町村別搬送人員(事故種別)	49
8. 搬送先医療機関	49
9. 事故種別搬送人員(程度別)	50
程度別搬送人員割合	50
10. 急病に係る疾病分類別・傷病程度別搬送人員	51
急病に係る疾病分類別搬送人員	51
11. 医師の現場出動件数	51
12. 事故種別搬送人員(年齢別)	52
13. 年齢別搬送人員割合	52

14. 救急隊員の行った現場応急処置件数	53
15. 事故種別不搬送件数	54
16. 医療機関選定者	54
17. 過去10年間の救急出動件数及び搬送人員	55
18. ドクターカー要請状況(市町村別件数)	56
19. 普通救命講習会の開催及び受講者状況	56

【救 助】

1. 救助出動状況	57
2. 事故種別救助活動状況	57

【通 信】

1. 災害等通報取扱状況（消防指令センター）	58
2. 災害等通報取扱状況（喜多方消防本部管内）	59
3. 災害等通報取扱の推移（喜多方消防本部管内）	60
4. 通信系統図	61
5. 災害通信体系	62

【消防団】

1. 市町村別消防団現勢	63
2. 市町村別消防団員階級別定員調	63
3. 消防団員報酬調	63
4. (公財)福島県消防協会喜多方支部構成一覧表	64

消防概要



1. 消防の沿革

昭和 28 年町村合併促進法に基づき、隣接町村の合併が行われ、昭和 29 年 3 月 31 日 1 町 7 村が合併し市制執行、喜多方市と改める。

合併町村：喜多方町、松山村、上三宮村、岩月村、関柴村、熊倉村、慶徳村、豊川村。

同時に喜多方市消防本部を発足し、消防署を設置する。

- 昭和 29. 4. 1 喜多方市役所総務課に消防本部・消防署を設置する。
- 昭和 29. 4. 6 喜多方市消防団より消防屯所及び普通ポンプ自動車 1 台を借用、仮住いとして職員 15 名をもって業務開始する。
- 昭和 29. 10. 1 消防ポンプ自動車 1 台を購入する。（トヨタ 90 馬力）
- 昭和 30. 4. 1 消防職員 2 名を採用し、17 名となる。
- 昭和 33. 10. 7 消防職員 2 名を採用し、19 名となる。
- 昭和 33. 12. 15 市役所新庁舎落成により消防署も同時移転、市役所の一部を借用仮住いとなる。
- 昭和 36. 4. 1 消防庁舎新築落成移転する。
- 昭和 39. 2. 11 消防ポンプ自動車 1 台購入する。（トヨタランドクルザー 3,900cc いちはらポンプ）
- 昭和 41. 11. 15 日本損害保険協会より普通ポンプ自動車 1 台寄贈される。（トヨタランドクルザー 3,900cc）
- 昭和 42. 2. 28 消防用超短波無線局開局（基地局 F10W、移動局 F5W、周波数 152.81MHz）
- 昭和 42. 4. 13 指揮車 1 台を購入する。（トヨタランドクルザー 3,900cc）
- 昭和 42. 7. 1 消防職員 2 名を採用し、21 名となる。
- 昭和 42. 7. 20 会津喜多方ライオンズクラブより救急車 1 台寄贈される。（トヨタ マスターライン 1,900cc）
- 昭和 42. 7. 25 救急業務開始する。（搬送業務のみ）
- 昭和 43. 4. 1 救急業務開始により消防職員 4 名を採用し、25 名となる。
- 昭和 43. 8. 30 会津喜多方ライオンズクラブより連絡車 1 台寄贈される。（ホンダ 250cc）
- 昭和 45. 8. 1 自治省が 44 年に示した広域市町村圏構想に基づき、喜多方地方広域市町村圏振興整備協議会発足する。
- 昭和 46. 4. 1 1 市 3 町 3 村の構成により喜多方地方広域市町村圏振興整備組合を設立し、併せて組合消防本部消防署を設置する。喜多方消防職員 25 名はそのまま組合消防署に移行する。
- 昭和 46. 8. 26 広報車 1 台購入する。（ニッサンセトリック 1,900cc）
- 昭和 46. 10. 1 消防職員 12 名を採用し、37 名となる。
- 昭和 46. 11. 10 広域消防本部計画により、救急車 3 台購入し、各分署に配備する。（ニッサンセトリック 2,000cc）
- 昭和 46. 11. 26 広域消防本部計画により、ポンプ自動車を購入し、各分署に配備する。（ニッサンパトロール 2,400cc）
- 昭和 46. 11. 30 広域消防本部計画により、3 分署設置、3 庁舎新築落成。
- 昭和 47. 1. 1 消防職員 8 名を採用し、45 名となる。北塩原、山都、西会津の 3 分署一斉に業務開始する。
- 昭和 47. 3. 14 消防用超短波無線市町村波、県内共通波開局（市町村波 151.59MHz、県内共通波 152.81 MHz）
- 昭和 47. 3. 21 日本自動車工業会より救急車 1 台寄贈される。（トヨタハイエース 1,900cc）
- 昭和 47. 4. 1 消防職員 18 名を採用し、63 名となる。
- 昭和 47. 6. 1 本署、各分署に連絡用バイク 4 台購入する。（ホンダ 125cc）
- 昭和 47. 8 第 1 回全国消防救助技術大会（東京都）の射撃の部に出場となる。
- 昭和 47. 10. 1 消防職員 5 名を採用し、68 名となる。

昭和 47. 11. 22 裏磐梯防火管理者協会が設立される。

昭和 47. 11. 30 組合消防庁舎新築落成（鉄筋コンクリート 2 階建、一部 3 階建、床面積 1,523.76 m²、指令台、テレビ監視装置取付、望楼勤務を廃止する。）

昭和 47. 12. 1 喜多方地方広域市町村圏組合に名称変更する。

昭和 48. 2. 19 消防ポンプ自動車 1 台購入し、消防署に配備する。（いすゞ 5,000ccGM いちはら）

昭和 48. 4. 27 指令広報車 1 台購入し、消防署に配備する。（トヨタワン 2,000cc）

昭和 48. 6. 1 喜多方広域消防署救助隊結成する。（隊員 22 名）

昭和 48. 6. 13 指揮車 1 台購入し、消防署に配備する。（トヨタランドクルザー 3,900cc）

昭和 48. 11. 1 消防職員 5 名を採用し、73 名となる。

昭和 49. 5. 16 化学ポンプ自動車 1 台購入し、消防署に配備する。（いすゞ 5,000ccGM いちはら）

昭和 49. 6. 20 喜多方地方消防設備等協会が設立される。

昭和 49. 8 第 3 回全国消防救助技術大会（横浜市）のロープ登はんの部に出場となる。

昭和 49. 9. 1 退職者 1 名の補充として、消防職員 1 名補充採用する。

昭和 49. 11. 30 東北電力株式会社より廃棄鉄塔 2 基を譲り受け、庁舎東に救助訓練塔として建設する。

昭和 50. 7. 26 喜多方地方危険物安全協会が設立される。

昭和 50. 8. 2 (財)日本船舶振興会より救急車 1 台寄贈される。（ニッサンキャラバン 1,600cc）

昭和 50. 10. 1 消防職員 1 名を採用し、74 名となる。

昭和 50. 10. 1 消防用超短波無線全国波開局 150.73MHz。これは山形県米沢市との相互応援協定により国道 121 号線及び西吾妻スカイバレーライン等で発生した火災、事故などに使用される。

昭和 50. 11. 1 消防職員 2 名を採用し、76 名となる。

昭和 50. 11. 30 消防職員待機宿舍新築落成（北塩原村大字檜原字剣ヶ峯地区、鉄筋コンクリート 2 階建）

昭和 51. 4. 30 各分署に広報連絡車配備する。（トヨタコナ 1,600cc）

昭和 51. 10. 30 各分署庁舎の一部増築をする。

昭和 51. 11. 10 喜多方地方防火管理者協会が設立される。

昭和 52. 10. 14 日本損害保険協会よりポンプ自動車 1 台寄贈される。（トヨタランドクルザー 4,000cc）

昭和 53. 7. 19 西会津分署広報連絡車、更新配備する。（スバル 4WD 1,600cc）

昭和 53. 10. 1 退職者 1 名の補充として、消防職員 1 名補充採用する。

昭和 54. 9. 13 第 4 回婦人防火全国大会において、喜多方地方婦人消防連絡協議会に贈呈された防火広報車を消防本部に配備する。

昭和 55. 4. 1 退職者 1 名の補充として、消防職員 1 名補充採用する。

昭和 55. 4. 1 福島県共済農業協同組合より救急車 1 台寄贈を受け、北塩原分署に配備する。（ニッサンキャラバン 2,000cc）

昭和 55. 5. 7 北塩原分署指揮車、更新配備する。（スバル 4WD 1,600cc）

昭和 55. 5. 27 本署指揮車、更新配備する。（トヨタコナ 1,600cc）

昭和 55. 8. 4 山都分署救急車、更新配備する。（トヨタハイエース 2,000cc）

昭和 55. 8. 30 日本消防協会より防災用車両として、消防指令広報車（キャラバン 1,600cc）の寄贈を受け本部指揮車として配備する。

昭和 55. 11. 10 空気充填室（3.3 m²）を本部敷地内に新設する。

昭和 56. 4. 1 退職者 1 名の補充として、消防職員 1 名補充採用する。

昭和 56. 6. 29 本署救急車、更新配備する。（トヨタハイエース 2,000cc）

昭和 56. 12. 14 西会津分署消防ポンプ車、更新配備する。(CD-I 型いすゞエルフ 2, 800cc 日本機械 B-1 級)

昭和 57. 4. 1 退職者 2 名の補充として、消防職員 2 名補充採用する。

昭和 57. 7. 1 退職者 1 名の補充として、消防職員 1 名補充採用する。

昭和 57. 11. 8 山都分署消防ポンプ車、更新配備する。(CD-I 型いすゞエルフ 3, 300cc GMA-II 級)

昭和 58. 3. 11 昭和 57 年度国庫補助事業国消検定 B 型消防救急通信指令装置完成する。(日立電子株式会社)

昭和 58. 3. 15 気象観測装置施設工事竣工する。

昭和 58. 3. 26 消防救急通信指令装置の開局式を挙げる。

昭和 58. 4. 1 退職者 1 名の補充として、消防職員 1 名補充採用する。

昭和 58. 11. 1 北塩原分署消防ポンプ車、更新配備する。(CD-I 型いすゞエルフ 3, 300cc 日本機械 A-II 級)

昭和 58. 12. 21 救急波無線複信式の業務を開始する。

昭和 59. 1. 20 業務用連絡車 1 台購入し、消防本部へ配備する。(スバルレックスコンビ 4WD)

昭和 59. 3. 23 山都分署指揮車、更新配備する。(スバル 4WD1, 800cc)

昭和 59. 4. 1 退職者 2 名の補充として、消防職員 2 名補充採用する。

昭和 59. 8 第 13 回全国消防救助技術大会(名古屋市)の障害突破の部に出場となる。

昭和 59. 12. 25 西会津分署救急車、更新配備する。(いすゞファーゴ 4WD)

昭和 60. 4. 1 退職者 2 名の補充として、消防職員 2 名補充採用する。

昭和 60. 8 第 14 回全国消防救助技術大会(広島市)の高所人命救助の部に出場となる。

昭和 60. 8. 29 日本消防協会より救急車の寄贈を受け、本署に配備する。(トヨタハイエース 2, 000cc)

昭和 60. 11. 14 救助工作車 1 台購入し、本署に配備する。

昭和 61. 7. 10 西会津分署指揮車、更新配備する。(スバル 4WD1, 800cc)

昭和 61. 11. 1 消防署消防ポンプ車、更新配備する。(CD-II 型いすゞエルフ動力昇降装置付)

昭和 62. 4. 1 退職者 1 名の補充として、消防職員 1 名補充採用する。

昭和 62. 4. 10 消防本部指令車、更新配備する。(トヨタマーク II)

昭和 62. 8 第 16 回全国消防救助技術大会(千葉市)の障害突破の部に出場となる。

昭和 62. 8. 24 総監旗、訓練本部旗を購入する。

昭和 63. 2. 20 社団法人日本損害保険協会より救急車 1 台の寄贈を受け、署に配備する。(トヨタ 2, 000cc)

昭和 63. 4. 8 消防本部にファクシミリを導入する。

昭和 63. 5. 31 消防本部指揮車、更新配備する。(スバル 4WD1, 800cc)

昭和 63. 12. 16 消防署消防ポンプ車、更新配備する。(CD-II 型いすゞ動力ホースカー、動力昇降装置付)

昭和 63. 12. 18 北塩原分署救急車、更新配備する。(いすゞファーゴ 4WD)

平成元. 1. 8 新元号(平成)

平成元. 3. 30 組合庁舎車庫新築工事(鉄骨造、中 2 階、79.9 m²)

平成元. 4. 1 退職者 2 名の補充として、消防職員 2 名補充採用する。

平成元. 4. 1 消防職員 1 名を採用し、77 名となる。

平成 2. 1. 20 消防署化学ポンプ車、更新配備する。(いすゞ化学-II 型)

平成 2. 2. 15 (社)日本自動車工業会より救急車 1 台の寄贈を受け、山都分署に配備する。(2B 型 4WD)

平成 2. 6. 1 消防本部の組織を 3 課にする。(総務課、予防課、警防課)

平成 2. 8 第 19 回全国消防救助技術大会(広島市)の高所人命救助の部に出場する。

平成 2. 8. 20 (財)日本消防協会より広報車 1 台の寄贈を受け、消防本部に配備する。(トヨタコナバン 1, 500cc)

平成 2. 11. 10 人員輸送車マイクロバス 1 台を購入し、消防本部に配備する。(トヨタ 15 人乗)

平成 3. 2. 27 福島県共済農業協同組合連合会より救急車 1 台の寄贈を受け、西会津分署に配備する。
(ニッサン 2B 型 4WD)

平成 3. 4. 1 退職者 1 名の補充として、消防職員 1 名を採用する。

平成 4. 6. 19 業務用連絡車を購入し、消防本部へ配備する。(トヨタ テラ 1,600cc)

平成 4. 8. 1 消防職員定数条例改正する。(90 人)

平成 5. 2. 15 消防署救急車、更新配備する。(ニッサン 4WD、2,700cc)

平成 5. 4. 1 消防職員 6 名を採用し、82 名となる。

平成 6. 2. 15 消防署救急車、更新配備する。(ニッサン 4WD 2,700cc)

平成 6. 3. 16 山都分署指揮車、更新配備する。(スバル 4WD)

平成 6. 4. 1 消防職員 3 名を採用し、86 名となる。

平成 6. 8. 25 第 23 回全国消防救助技術大会(京都市)の障害突破の部に出場となる。

平成 6. 11. 8 北塩原分署救急車、更新配備する。(トヨタ 4WD 2,700cc)

平成 7. 3. 25 無線中継塔を設置する。

平成 7. 3. 25 平成 6 年度国庫補助事業 I 型消防緊急通信指令装置完成する。(沖電気工業株式会社)

平成 7. 4. 1 退職者 2 名の補充を含み、消防職員 6 名を採用し 90 名となる。

平成 7. 4. 10 消防緊急通信指令施設竣工式。

平成 7. 7. 1 退職者 1 名の補充として、消防職員 1 名補充採用する。

平成 7. 10. 1 警防課に通信指令係を新設する。

平成 7. 10. 1 1 市 3 町 3 村の 119 番を集約し、消防本部で一斉指令を開始する。

平成 7. 10. 31 西会津消防署庁舎起工式。

平成 8. 5. 22 当広域初の救急救命士が誕生する。

平成 8. 9. 25 西会津消防署落成式。

平成 8. 10. 1 西会津消防署(人員 20 名)開署。高速道対応のため救急車を増設配備する。

平成 8. 10. 17 磐越自動車道西会津 IC 供用開始

平成 9. 4. 1 消防職員 5 名を採用し、95 名となる。

平成 9. 5. 22 全国消防長会の広報防災委員会が北塩原村で開催される。

平成 9. 6. 1 消防本部指令車、更新配備する。(トヨタ クラウン)

平成 9. 8. 22 第 26 回全国消防救助技術大会(千葉市)の障害突破の部に出場となる。

平成 9. 9. 1 福島県総合防災訓練が喜多方市で開催される。

平成 9. 10. 1 磐越自動車道が全線開通となる。隣接する東蒲原広域消防本部及び県内沿線消防本部と磐越自動車道における消防相互応援協定を締結する。

平成 9. 10. 1 週休二日制の完全実施。

平成 9. 12. 31 火災件数 49 件、広域消防発足以来最多となる。

平成 10. 1. 1 退職者 1 名の補充として、消防職員 1 名を補充採用する。

平成 10. 1. 27 山都分署消防ポンプ車、更新配備する。(CD-I 型 いすゞ エルフ)

平成 10. 1. 27 西会津消防署に水槽付ポンプ車配備する。(日野水 1-B 型 日本機械)

平成 10. 2. 6 西会津消防署に配備されていた消防ポンプ自動車(いすゞ エルフ)を南米ペルーに寄贈する。

平成 10. 3. 26 福島県共済農業協同組合連合会より救急車 1 台の寄贈を受け、山都分署に配備する。
(トヨタ ハイエース 3,000cc)

平成 10. 4. 1 消防職員 6 名を採用し、100 名となる。

平成10. 12. 14 喜多方消防署に高規格救急車を配備する。(トヨタ ハイメディック 3, 370cc)

平成11. 1. 18 高規格救急車運用開始となる。

平成11. 4. 1 3部制の交替勤務を実施する。

平成11. 4. 1 退職者1名の補充として消防職員1名を採用する。

平成11. 7. 28 西会津消防署に指揮車(トヨタ サーフ)を更新配備する。

平成11. 10. 21 消防OB会(名称:喜多方消防本部OB会)発会する。

平成11. 11. 4 北塩原分署待機宿舎を用途廃止し、北塩原村へ譲渡移管する。

平成11. 12. 24 裏車庫2階を増築する。

平成11. 12. 31 火災件数は49件、救急件数が過去最多の1,924件となる。

平成12. 2. 24 北塩原分署に消防ポンプ車(日野デュトロ)を更新配備する。

平成12. 3. 13 喜多方消防署に配備されていた消防ポンプ自動車(トヨタ)を南米ペルーに寄贈する。

平成12. 3. 27 福島総合警備保障㈱より指揮車(トヨタ カルディナ)が寄贈され喜多方消防署に配備される。

平成12. 4. 1 福島県消防航空センターに1名派遣する。(2年間)

平成12. 5. 31 第53回福島県下消防大会が喜多方プラザ文化センターにて開催される。

平成12. 8. 16 磐梯山の臨時火山情報が若松測候所より発表され消防本部に対策本部を設置する。

平成12. 12. 31 年間の火災による焼死者が過去最多であった昭和62年の6名に並んだほか、内5名が高齢者と過去最悪の状況となる。又、救急出動件数においても広域発足後初めて2,000件を越し2,105件と過去最多となる。

平成13. 3. 2 第四次喜多方地方ふるさと市町村圏計画策定する。

平成13. 3. 21 喜多方消防署に救助工作車Ⅱ型(日野 スペースランジャー)を更新配備する。

平成13. 4. 1 退職者3名の補充として消防職員3名を採用する。

平成13. 11. 30 喜多方消防署に救急車(トヨタⅡB型4WD)を配備する。

平成13. 12. 27 喜多方消防署に当消防本部2台目のシャッター付消防ポンプ自動車(日野 CD-I型4WD)喜多方消防署を更新配備する。

平成13. 12. 31 火災件数は過去最多の58件、救急件数は2,109件となる。

平成14. 3. 25 日本損害保険協会より高規格救急車(ニッサン エルグランド)が寄贈され西会津消防署に配備される。
救急救命士を3名西会津消防署に配置する。

平成14. 4. 1 退職者3名の補充として消防職員3名を採用する。
広域的地域情報通信ネットワーク基盤施設整備事業工事開始。

平成14. 6. 25 西会津消防署に指揮車(トヨタ カルディナ)を更新配備する。

平成14. 8. 23 第31回全国消防救助技術大会(名古屋市)の障害突破の部に出場となる。

平成14. 9. 17 指令伝送装置の運用を開始する。

平成14. 9. 30 広域的地域情報通信ネットワーク基盤施設整備事業工事完了。

平成14. 10. 1 当消防本部ホームページの運用を開始する。

平成14. 10. 29 広域的地域情報通信ネットワーク基盤施設整備事業竣工式。

平成14. 11. 1 画像伝送装置の運用を開始する。

平成14. 12. 31 火災件数は54件、救急件数は過去最多の2,142件となる。

平成15. 1. 1 業務支援装置の運用を開始する。それに伴い出動情報が電子化される。

平成15. 7. 1 消防本部旗を購入する。

平成15. 10. 12 広域的・地域情報通信ネットワークを利用した IP テレビ放送システムを導入、運用を開始する。

平成15. 10. 20 消防本部マスコットキャラクター「まもるくん」が誕生する。

平成15. 12. 31 火災件数は40件、救急件数は過去最多の2,295件となる。

平成16. 1. 1 火災報告等オンライン処理システムの運用を開始する。

平成16. 6. 13 北塩原分署庁舎起工式。

平成16. 10. 23 新潟県中越地震発生。総務省消防庁より派遣要請を受け、緊急消防援助隊福島県隊として被災地に6名派遣する。

平成16. 11. 19 北塩原分署庁舎落成式。

平成16. 12. 31 火災件数は40件、救急件数は過去最多の2,486件となる。

平成17. 1. 31 日本損害保険協会より高規格救急車（トヨタ ハイメック 4WD）が寄贈され喜多方消防署に配備される。それに伴い高規格救急車の配備計画見直しにより、従前の高規格救急車を北塩原分署に配備する。

平成17. 4. 1 北塩原分署に救急救命士3名を配置する。

平成17. 4. 27 喜多方消防署に連絡車（トヨタ プリウス）を更新配備する。

平成17. 8. 25 第34回全国消防救助技術大会（さいたま市）のはしご登はんの部に出場となる。

平成17. 11. 13 第1回防火フェスティバルが喜多方プラザで開催される。

平成17. 12. 31 火災件数は27件、救急件数は2,482件となる。

平成18. 1. 4 喜多方市、熱塩加納村、塩川町、山都町、高郷村が合併し、1市1町1村の広域体制となる。

平成18. 8. 24 第35回全国消防救助技術大会（札幌市）のはしご登はんの部に出場となる。

平成18. 9. 17 山都分署庁舎起工式。

平成18. 9. 29 喜多方消防署に指揮車（三菱 アウトランダー）を更新配備する。

平成18. 12. 31 火災件数は42件、救急件数は2,588件となる。

平成19. 3. 2 喜多方消防署に消防ポンプ自動車（CD-II型 日野レンジャー）更新配備する。

平成19. 4. 1 退職者2名の補充として消防職員2名採用する。

平成19. 4. 12 山都分署庁舎落成式。

平成19. 10. 1 退職者2名の補充として消防職員2名採用する。

平成19. 11. 19 山都分署に高規格救急車（トヨタ ハイース）が配備され運用を開始する。

平成19. 12. 31 火災件数は37件、救急件数は過去最多の2,602件となる。

平成20. 4. 1 退職者の補充として消防職員4名採用する。

平成20. 6. 14 岩手・宮城内陸地震災害応援のため、岩手県一関市などに緊急消防援助隊を福島県隊として10名派遣する。

平成20. 7. 24 岩手県沿岸北部地震災害応援のため、岩手県盛岡市に緊急消防援助隊を福島県隊として7名派遣する。

平成20. 12. 31 火災件数は42件、救急は2,314件となる。

平成21. 2. 23 西会津消防署に消防ポンプ自動車（CD-I型 日野レンジャー）を更新配備する。

平成21. 4. 1 退職者の補充として消防職員6名と再任用職員2名を採用する。

平成21. 8. 20 第38回全国消防救助技術大会（横浜市）のはしご登はんの部に出場となる。

平成21. 10. 29 北塩原分署に指揮車（三菱 アウトランダー）を更新配備する。

平成21. 12. 31 火災件数は35件、救急件数は過去最多の2,604件となる。

平成22. 3. 30 西会津消防署に高規格救急車（トヨタ ハイメック）が配備され運用を開始する。

平成22. 4. 1 退職者の補充として消防職員5名を採用する。

平成 22. 8. 27 第 39 回全国消防救助技術大会（京都市）の障害突破の部に出場となる。

平成 22. 12. 31 火災件数は 34 件、救急件数は過去最多の 2,939 件となる。

平成 23. 1. 25 北塩原分署に高規格救急車（トヨタ ハイメディック）を更新配備する。

平成 23. 3. 11 14 時 46 分 東北地方太平洋地震（東日本大震災）発生 マグニチュード 9.0。
最大震度：震度 7（宮城県栗原市） 管内の震度：震度 5 強 喜多方市、震度 5 弱 西会津町、
震度 4 北塩原村。

平成 23. 3. 11 東日本大震災に伴う応援隊出動、消防隊、支援隊 10 名が南相馬市に出動する。

平成 23. 3. 13 東日本大震災に伴う応援隊出動、救急隊、支援隊が南相馬市、相馬市、田村市、いわき市に
～ 4. 11 出動する。

平成 23. 3. 13 喜多方消防署に災害支援車（三菱 ローズ）が配備され運用を開始する。

平成 23. 4. 1 退職者の補充として消防職員 3 名を採用する。

平成 23. 4. 1 消防通信指令に関する事務を共同で管理執行することを目的として会津若松地方広域市町村
圏整備組合と「会津若松地方及び喜多方地方消防通信指令事務協議会」を設置する。

平成 23. 6. 1 福島県消防航空センターに 1 名派遣する。（3 年間）

平成 23. 11. 6 会津縦貫北道路喜多方 IC から塩川 IC 間開通となる。

平成 23. 12. 31 火災件数は 33 件、救急件数は過去最多の 2,969 件となる。

平成 24. 3. 1 高機能消防指令システムを導入し、会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部と共同で「会津若松地方・喜多
方地方消防指令センター」を運用開始する。

平成 24. 3. 29 全国共済農業協同組合連合会より救急車（トヨタ ハイメディック）1 台寄贈を受け、喜多方消防署に配備する。

平成 24. 4. 1 消防本部の組織を 2 課（総務課、消防課）にする。総務課に広報室を置く。

平成 24. 4. 2 退職者の補充として消防職員 4 名を採用する。

平成 24. 11. 21 山都分署に指揮車（三菱 アウトランダー）を更新配備する。

平成 24. 12. 25 喜多方消防署に高規格救急車（トヨタ ハイメディック）を更新配備する。

平成 24. 12. 31 火災件数は 21 件、救急件数は 2,952 件となる。

平成 25. 2. 7 国道 121 号会津縦貫北道路にて 75 台の玉突き事故発生。

平成 25. 4. 1 退職者の補充として消防職員 6 名を採用する。職員定数を 4 名増員し、104 名となる。（職員
定数は、平成 25 年度 1 年間の期限）

平成 25. 6. 3 東日本大震災に伴う人的支援により双葉広域消防本部へ職員 1 名派遣する。（7 月 5 日まで）

平成 25. 8. 22 第 42 回全国消防救助技術大会（広島市）のはしご登はんの部に出場となる。

平成 25. 10. 18 喜多方消防署に指揮車（三菱 アウトランダー）を更新配備する。

平成 25. 12. 5 西会津消防署に高規格救急車（トヨタ ハイメディック）を更新配備し、管内の救急車 6 台がすべて高規格救急車となる。

平成 25. 12. 31 火災件数は 27 件、救急件数は広域発足後初めて 3,000 件を超し、3,014 件と過去最多となる。

平成 26. 4. 1 退職者の補充として消防職員 6 名を採用し、職員数を 97 名とする。

平成 26. 4. 1 消防署の勤務体制を 3 部制から 2 部制とする。

平成 26. 4. 1 総務課広報室を廃止する。

平成 26. 4. 1 福島県消防学校へ職員 1 名派遣する。

平成 26. 7. 3 喜多方地方の三協会（消防設備等協会、危険物安全協会、防火管理者協会）を統一し喜多方
地方消防防災協会が設立される。

平成 26. 12. 31 火災件数は 29 件、救急件数は 2,959 件となる。

平成 27. 4. 1 退職者の補充として消防職員 3 名を採用し、職員数 99 名とする。

平成 27. 8. 29 第 44 回全国消防救助技術大会（神戸市）に障害突破の部が出場する。

平成 27. 9. 27 国道 121 号会津縦貫北道路が全線開通する。

平成 27. 12. 31 火災件数は昨年を 5 件下回り 24 件、救急件数は過去最多の 3,036 件となる。

平成 28. 1. 13 北塩原村・猫魔ヶ岳周辺で豪州人 6 名遭難事案発生。救助活動実施する。

平成 28. 4. 1 退職者の補充として消防職員 2 名を採用し、職員数 99 名とする。

平成 28. 10. 4 新庁舎の整備・検討を図るため、喜多方地方広域市町村圏組合本庁舎・消防庁舎整備計画検討委員会を設置する。

平成 28. 12. 31 火災件数は 37 件、救急件数は 2,874 件となる。

平成 29. 1. 12 西会津消防署に水槽車（水Ⅰ－Ｂ 日野 レンジャー）を更新配備する。

平成 29. 2. 20 喜多方消防署に化学車（化学Ⅱ 日野 レンジャー）を更新配備する。

平成 29. 4. 1 退職者の補充として消防職員 3 名を採用し、職員数 101 名とする。

平成 29. 5. 2 浪江町十万山（避難指示区域内）の林野火災に福島県消防相互応援協定に基づき出動する。

平成 29. 5. 8 会津坂下町朝立地内の建物・林野火災に応援出動する。

平成 29. 8. 23 第 46 回全国消防救助技術大会（仙台市）に、引揚救助の部が出場する。

平成 29. 12. 15 喜多方消防署に指揮車（トヨタ レジアスエース）を更新配備する。

平成 29. 12. 31 火災件数は 25 件、救急件数は 2,983 件となる。

平成 30. 2. 2 喜多方地方広域市町村圏組合本庁舎・消防庁舎整備計画検討委員会により答申する。

平成 30. 2. 6 山都分署に消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型 CAFS 日野デュトロ)を更新配備する。

平成 30. 4. 1 消防職員 1 名を採用し、職員数 102 名とする

平成 30. 4. 1 福島県消防航空隊へ 1 名派遣する。

平成 30. 4. 26 新庁舎建設整備・検討を図るため、喜多方地方広域市町村圏組合新本庁舎・消防庁舎建設推進委員会を設置する。

平成 30. 8. 23 山都分署に高規格救急車（トヨタ ハイメディック）を更新配備する。

平成 30. 8. 24 第 47 回全国消防救助技術大会（京都府）に、はしご登はんの部が出場する。

西日本豪雨により全国大会中止となる。

平成 30. 11. 9 北塩原分署に消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型 CAFS 日野デュトロ)を更新配備する。

平成 30. 12. 31 火災件数は 26 件、救急件数は 3,152 件となる。

平成 31. 4. 1 退職者の補充として消防職員 2 名を採用し、職員数 103 名とする。

令和 1. 5. 1 新元号「令和」が施行される。

令和 1. 8. 25 第 48 回全国消防救助技術大会（岡山県）に、はしご登はんの部が出場する。

令和 1. 9. 10 喜多方消防署に高規格救急車（トヨタ ハイメディック）を更新配備する。

令和 1. 10. 25 台風 21 号被害に伴い、福島県相互応援協定に基づきいわき市へ出動する。

令和 1. 12. 9 西会津消防署に指揮車（トヨタ レジアスエース）を更新配備する。

令和 1. 12. 17 喜多方消防署に消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型 CAFS モリタ)を更新配備する。

令和 1. 12. 20 喜多方地方広域市町村圏組合新本庁舎・消防庁舎建設着工
(工期：令和元年 12 月 20 日～令和 3 年 3 月)

令和 1. 12. 31 火災件数 38 件、救急件数 2,923 件となる。

令和 2. 2. 22 庁舎建設安全祈願祭・起工式を実施する。

令和 2. 6. 12 杭工事竣工。

令和 2. 10. 2 西会津消防署外壁塗装補修工事竣工。

令和 2. 12. 31 火災件数 25 件、救急件数 2601 件となる。

2. 圏域の概要

当広域は、歴史的・地理的に密接な関係をもつ喜多方市、熱塩加納村、北塩原村、塩川町、山都町、西会津町、高郷村の一市三町三村が、昭和45年7月に喜多方地方広域市町村圏として制定され、平成18年1月4日には喜多方市、熱塩加納村、塩川町、山都町、高郷村が合併して新しい喜多方市が誕生し、一市一町一村の新たな枠組みが形成された。首都東京から北西に約300キロメートル、県都福島市から西南に約100キロメートルの地点で、福島県の西北部に位置し、新潟県・山形県に境を接し、その広ぼうは東西55.5キロメートル、南北26.3キロメートル、面積1,086.89平方キロメートルで、全県に対する7.9パーセントを占めている。

また圏域には山岳が多く、2,000メートル余の飯豊山・西吾妻山をはじめ、1,500メートルを越す山岳は五つを数え、自然的条件からすると平坦部地域と農山村地域に区別され、おのおの異なる性格の地域構成を形成し、圏域の約80パーセントを山林原野が占めている。

気候は典型的な日本海型であり、気温は最高で約35℃以上、最低で氷点下約15℃以下にもなり、季節や地域で寒暖の差が大きく、その上農山村地域は豪雪地帯でもある。

河川は阿賀川水系の一级河川が数多く、会津地域すべての河川が当圏域内で合流するという他に類例のない河川集中の圏域でもある。

喜多方地方広域市町村圏組合消防本部の位置	
東経 139度53分04秒	北緯 37度38分56秒



3. 喜多方地方広域市町村圏組合管轄別面積・人口・世帯数

総面積 1,086.89 km²

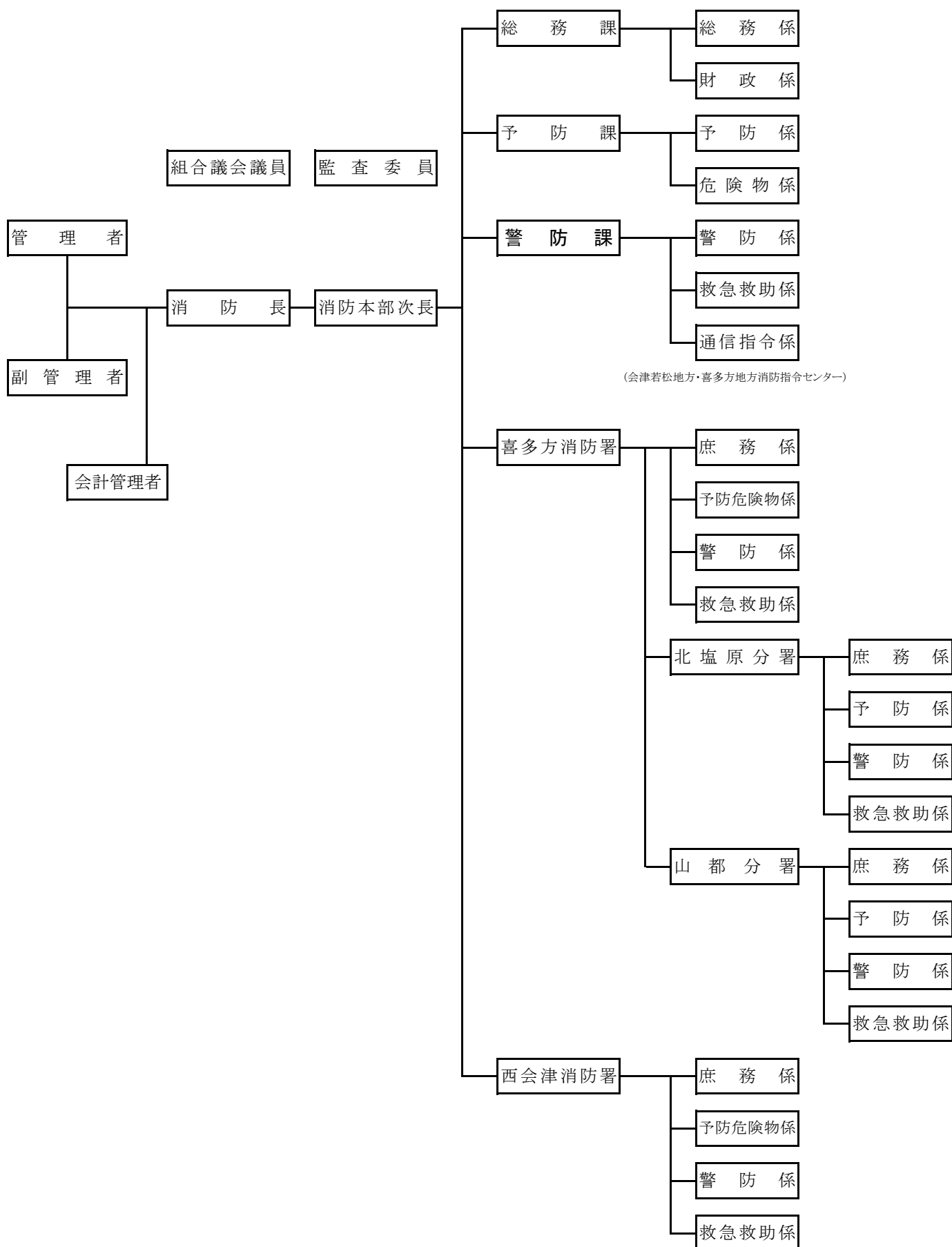
人口 54,917 人

世帯数 20,450 世帯

令和3年4月1日現在

区分 市町村名	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	人口内訳		
			男 (人)	女 (人)	計 (人)
喜 多 方 市	554.63	16,761	22,339	24,013	46,352
北 塩 原 村	234.08	1,091	1,326	1,304	2,630
西 会 津 町	298.18	2,598	2,875	3,060	5,935
合 計	1,086.89	20,450	26,540	28,377	54,917

4. 喜多方地方広域市町村圏組合消防機構図



5. 消防本部・署の事務分掌

【総務課】

総務係

- (1) 組織、制度に関すること。
- (2) 職員の任免、分限、懲戒、試験、服務、その他勤務条件に関すること。
- (3) 職員の定数管理に関すること。
- (4) 公印の保管に関すること。
- (5) 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (6) 消防の総合的な企画調整及び重要事業計画の策定並びに進行に関すること。
- (7) 職員の給与、その他給付の決定及び裁定に関すること。
- (8) 職員の人事記録に関すること。
- (9) 渉外に関すること。
- (10) 条例、規則等の立案及び審査に関すること。
- (11) 告示、訓令、協定及び通達等の調整に関すること。
- (12) 職員の教養及び研修に関すること。
- (13) 式典、行事及び会議に関すること。
- (14) 叙位、叙勲及び表彰に関すること。
- (15) 庁史、その他刊行物の編集発行に関すること。
- (16) 職員の福利厚生及び衛生管理に関すること。
- (17) 事務分掌に属する証明に関すること。
- (18) 消防情報及び記録、統計に関すること。
- (19) 他課及び課内他係の主管に属さないこと。

財政係

- (1) 予算及び経理に関すること。
- (2) 物品の管理及び給与品に関すること。
- (3) 予算の配分及び執行管理に関すること。
- (4) 物品、用品の購入及び契約並びに検収に関すること。
- (5) 不用品の処分に関すること。
- (6) 事務分掌に属する証明に関すること。
- (7) その他財政に関すること。

【消防課】

予防係

- (1) 火災予防に関すること。
- (2) 立入り検査等及び違反処理に関すること。
- (3) 消防用設備等の設置維持に関すること。
- (4) 建築同意事務に関すること。
- (5) 防火基準表示対象物の交付基準に関すること。
- (6) 旅館等の防火安全対策に関すること。
- (7) 防火対策の指導に関すること。
- (8) 防火管理者の講習、資格証明及び台帳管理に関すること。
- (9) 火災原因、損害調査及び火災報告に関すること。
- (10) 各種団体の育成及び事務に関すること。
- (11) 消防広聴、広報に関すること。
- (12) 課内他係の主管に属さない事務に関すること。

危険物係

- (1) 危険物の規制及び許可、認可等に関すること。
- (2) 危険物製造所等の指導取締り及び行政措置に関すること。
- (3) 危険物取扱者の指導育成に関すること。
- (4) 危険物の判定試験に関すること。
- (5) 液化石油ガス施設の意見書の交付に関すること。
- (6) 少量危険物等の安全取締りに関すること。
- (7) 指定可燃物の安全取締りに関すること。
- (8) 危険物関係団体の育成及び事務に関すること。
- (9) その他危険物に関すること。

警防係

- (1) 警防計画の策定に関すること。
- (2) 水、火災の警戒及び防ぎよに関すること。
- (3) 消防力の配備計画に関すること。
- (4) 消防部隊運用計画の策定に関すること。
- (5) 消防地理、水利に関すること。
- (6) 防災関係機関との連絡調整に関すること。
- (7) 消防及び救急の相互応援協定に関すること。
- (8) 警防技術の研究、指導訓練に関すること。
- (9) 消防用機械、装備の配置に関すること。
- (10) 消防自動車等の登録及び検査に関すること。
- (11) 消防用機械の整備、補修及びその計画に関すること。
- (12) 消防用機械、器具の改善及び研究に関すること。

- (13) 消防情報及び統計に関すること。
- (14) 消防団との連絡調整に関すること。
- (15) 各種団体の消防訓練指導に関すること。
- (16) その他警防に関すること。

救急救助係

- (1) 救急、救助の運用計画に関すること。
- (2) 救急医療機関、その他関係機関との連絡に関すること。
- (3) 救急、救助統計に関すること。
- (4) 救急、救助技術の研究、指導、教養に関すること。
- (5) 救急医療対策に関すること。
- (6) 救急搬送証明に関すること。
- (7) 救急、救助用資機材の配置に関すること。
- (8) 救急、救助用機械の整備、補修及びその計画に関すること。
- (9) 各種団体の救急訓練指導に関すること。
- (10) 山岳、水難救助に関すること。
- (11) その他救急、救助に必要な事項に関すること。

通信指令係

- (1) 災害及び救急の受理並びに出動指令に関すること。
- (2) 消防通信の運用及び統制に関すること。
- (3) 災害及び救急に関する情報の収集並びに伝達に関すること。
- (4) 災害通信の記録に関すること。
- (5) 消防通信施設及び気象観測装置の維持管理に関すること。
- (6) 会津若松地方及び喜多方地方消防通信指令事務協議会に関すること。
- (7) その他消防通信に関すること。

【消防署】

庶務係

- (1) 公印の保管及び文書の收受、発送及び保存に関すること。
- (2) 職員の服務及び教養に関すること。
- (3) 物品及び給貸与品の整理保存に関すること。
- (4) 事務事業計画及び総合調整に関すること。
- (5) 消防統計の資料収集に関すること。
- (6) 署内の取締りに関すること。
- (7) 職員の福利厚生に関すること。
- (8) その他各係に属さない事項に関すること。

予防危険物係

- (1) 火災予防の査察指導に関すること。
- (2) 消防用設備等の設置指導及び検査に関すること。
- (3) 消防用設備等の点検報告に関すること。
- (4) 建築同意事務及び調査に関すること。
- (5) 火災原因及び損害調査に関すること。
- (6) 防火基準表示対象物の調査及び表示マークの交付に関すること。
- (7) 旅館等の防火安全対策及び適合通知書の交付に関すること。
- (8) 防火管理者選解任及び消防計画の届出に関すること。
- (9) 喜多方地方広域市町村圏組合火災予防条例(昭和48年喜多方地方広域市町村圏組合第6号。以下「火災予防条例」という。に基づく各種届出等に関すること。
- (10) 防火対象物の違反調査及び処理に関すること。
- (11) 自主防災組織の育成及び指導に関すること。
- (12) 防火指導に関すること。
- (13) 危険物の製造所等の許可及び認可についての調査及び検査に関すること。
- (14) 危険物に関する指導及び取締りに関すること。
- (15) 危険物取扱者の指導に関すること。
- (16) 少量危険物及び指定可燃物の火災予防措置に関すること。
- (17) 液化石油ガス施設の意見書の交付に係る調査に関すること。
- (18) 高圧ガス、火薬類、劇毒物等の火災予防措置に関すること。
- (19) その他予防及び危険物に関すること。

警防係

- (1) 警防計画に関すること。
- (2) 火災その他の災害の警戒及び防御に関すること。
- (3) 警防訓練に関すること。
- (4) 警防調査に関すること。
- (5) 地理及び水利の調査及び保全に関すること。
- (6) 災害現場における警戒区域の設定に関すること。
- (7) 消防機械器具等の点検整備、保管に関すること。
- (8) 消防気象及び情報に関すること。
- (9) 通信業務及び通信施設の維持管理に関すること。
- (10) 災害の受付及び出動指令に関すること。
- (11) 災害通信の記録に関すること。
- (12) 救急情報及び関係機関との連絡に関すること。
- (13) 係に属する情報、記録及び統計に関すること。
- (14) 火災予防条例第49条に基づく届出の受理に関すること。

- ること。
- (15) 消防団との連絡及び協同行動に関する事。
 - (16) 福島県消防協会喜多方支部に関する事。
 - (17) その他警防に必要な事項に関する事。

救急救助係

- (1) 救急資器材等の点検整備及び保全に関する事。
- (2) 救急訓練に関する事。
- (3) 救急出動の記録に関する事。
- (4) その他救急業務に関する事。
- (5) 災害救助活動に関する事。
- (6) 救助資器材等の点検整備及び保全に関する事。
- (7) 救助訓練に関する事。
- (8) 救助出動の記録に関する事。
- (9) その他救助業務に関する事。
- (8) 火災予防条例に基づく各種届出等に関する事。
- (9) 防火対象物の違反調査に関する事。
- (10) 自主防災組織の育成及び指導に関する事。
- (11) 防火指導に関する事。
- (12) 危険物の製造所等の許可及び認可についての調査及び検査に関する事。
- (13) 危険物に関する指導及び取締りに関する事。
- (14) 少量危険物及び指定可燃物の火災予防措置に関する事。
- (15) 液化石油ガス施設の意見書の交付にかかる調査に関する事。
- (16) その他予防及び危険物に関する事。

【 分 署 】

庶 務 係

- (1) 公印の保管並びに文書の収受、発送及び保存に関する事。
- (2) 物品の整理保存に関する事。
- (3) 職員の福利厚生に関する事。
- (4) 署内の取締りに関する事。
- (2) 警防訓練に関する事。
- (3) 警防調査に関する事。
- (4) 地理及び水利の調査及び保全に関する事。
- (5) 消防機械器具等の点検整備、保全に関する事。
- (6) 通信業務に関する事。
- (7) 消防気象及び情報に関する事。
- (8) その他警防に関する事。

予 防 係

- (1) 火災予防の査察指導に関する事。
- (2) 消防用設備等の設置指導及び検査に関する事。
- (3) 消防用設備等の点検報告に関する事。
- (4) 建築同意事務に係る調査に関する事。
- (5) 火災原因及び損害調査に関する事。
- (6) 防火基準表示対象物の調査に関する事。
- (7) 防火管理者選解任及び消防計画の届出に関する事。
- (1) 救急、救助資器材等の点検整備及び保全に関する事。
- (2) 救急及び救助訓練に関する事。
- (3) 救急及び救助出動の記録に関する事。
- (4) その他救急及び救助業務に関する事。

警 防 係

救急救助係

6. 消防力の整備指針と現況

常備消防力(消防本部・署)

＜ 施 設 等 ＞

令和3年4月1日現在

区 分	基 準 数 A	整 備 数 B	比 較 B-A	充 足 率 % B/A × 100
署 ・ 分 署	4	4	0	100
消 防 ポ ン プ 自 動 車	6	6	0	100
は し ご 自 動 車	1	0	▲ 1	0
化 学 自 動 車	1	1	0	100
救 急 自 動 車	6	6	0	100
救 助 工 作 車	1	1	0	100
指 揮 車	1	1	0	100
広 報 車		6		
消防緊急通信指令施設Ⅱ型		1		
消防無線電話	固 定 用	17		
	車 載 用	31		

＜ 人 員 ＞

令和3年4月1日現在

区 分	基 準 数 台 数	基準台数に 対する人員 の基準数	整 備 数 台 数	整備台数に 対する人員 の算定数A	現 有 人 員 B	比 較 B-A	充足率 % B/A × 100
総 数		146		146	106	▲ 40	73
警 防 要 員	消防ポンプ自動車	6	6	99	67	▲ 32	68
	はしご自動車	1	0				
	化学自動車	1	1				
	救急自動車	6	6				
	救助工作車	2	1	15	12	▲ 3	80
	指揮車(指揮隊員)	1	1	9	9	0	100
通 信 員		7		7	7	0	100
予 防 要 員		9 (4)		9 (4)	5	3	67
庶務の処理等の人員		11		11	6	▲ 5	55

()内は兼務数

7. 消防庁舎の現況

令和3年4月1日現在

区分 本部 署・分署	所在地	構造	竣工 年月日	面積 (㎡)		
				敷地面積	建物面積	延面積
喜多方地方広域 市町村圏組合消 防本部消防署	喜多方市字屋敷免 3958番地	鉄筋コン クリート 造3階建	S47.12. 1	2,025.36	588.05	1,523.76
車庫		鉄骨造 2階建	H元. 3.30		75.60	151.20
北塩原分署	耶麻郡北塩原村大字桧 原字剣ヶ峯1093番地の 730	鉄骨造 2階建	S47.1.1 (H16.11.1 9新築)	2,785.19	396.72	562.60
山都分署	喜多方市山都町字広中 新田1167番地	鉄骨造 一部2階建	S47.1.1 (H19.4.12 新築)	1,750.10	397.20	532.00
西会津消防署	耶麻郡西会津町野沢 字原町50番	鉄骨造 2階建	S47.1.1 (H 8.10. 1 新築)	3,959.00	990.63	998.77
訓練塔		鉄骨造 6階建	H8.10. 1		25.40	152.44

8. 歴代消防長・消防署長

〔消防長〕

令和3年4月1日現在

歴代	氏名	在職期間
初代	小沢重一（事務取扱）	S46. 4. 1 ～ S46.12.25
2代	唐橋東（事務取扱）	S46.12.26 ～ S49. 7.31
3代	尾崎永静	S49. 8. 1 ～ S52. 9.30
4代	佐藤正	S52.10. 1 ～ S55. 3.31
5代	唐橋東（事務取扱）	S55. 4. 1 ～ S61. 4.29
6代	飯野陽一郎（事務取扱）	S61. 4.30 ～ H元. 3.31
7代	別府廣正	H元. 4. 1 ～ H 2. 3.31
8代	飯野陽一郎（事務取扱）	H 2. 4. 1 ～ H 2. 4.30
9代	池亀弘	H 2. 5. 1 ～ H 5. 3.31
10代	高橋修	H 5. 4. 1 ～ H 7. 3.31
11代	佐藤秀夫	H 7. 4. 1 ～ H10. 3.31
12代	菊地哲夫	H10. 4. 1 ～ H11. 3.31
13代	遠藤徹	H11. 4. 1 ～ H14. 3.31
14代	磯部邦夫	H14. 4. 1 ～ H17. 3.31
15代	佐藤洋一郎	H17. 4. 1 ～ H21. 3. 1
16代	長谷川孝志（職務代理者）	H21. 3. 2 ～ H21.3.31
17代	長谷川孝志	H21. 4. 1 ～ H23. 3.31
18代	東條勝	H23. 4. 1 ～ H24. 3.31
19代	夏井孝二	H24. 4. 1 ～ H25. 3.31
20代	佐藤新一	H25. 4. 1 ～ H27.3.31
21代	横山和也	H27. 4. 1 ～ H28.3.31
22代	佐藤喜幸	H28. 4. 1 ～ H31.3.31
23代	高久寛行	H31. 4. 1～

〔消防署長〕

令和3年4月1日現在

歴代	喜多方消防署	歴代	西会津消防署
氏名	在職期間	氏名	在職期間
初代	佐藤芳三 S46. 4. 1～S49. 7.31	初代	花積俊実 H 8.10. 1～H13. 3.31
2代	佐藤正 S49. 8. 1～S55. 3.31	2代	目黒修世 H 13.4. 1～H17. 3.31
3代	河内辰夫 S55. 4. 1～S59. 3.31	3代	長谷川孝志 H 17.4. 1～H19. 3.31
4代	小川徳美 S59. 4. 1～S61. 9.30	4代	穴澤純夫 H 19.4. 1～H22. 3.31
5代	別府廣正 S61.10. 1～H元. 3.31	5代	夏井孝二 H 22.4. 1～H23. 3.31
6代	佐藤秀夫 H元. 4. 1～H 7. 3.31	6代	大房淳一 H 23.4. 1～H24. 3.31
7代	菊地哲夫 H 7. 4. 1～H10. 3.31	7代	長谷川秀一 H 24.4. 1～H25. 3.31
8代	遠藤徹 H10. 4. 1～H11. 3.31	8代	辺見明美 H 25.4. 1～H26. 3.31
9代	磯部邦夫 H11. 4. 1～H14. 3.31	9代	芥川和雄 H 26.4. 1～H28. 3.31
10代	花積俊実 H14. 4. 1～H15. 3.31	10代	岩橋隆明 H 28.4. 1～H29. 3.31
11代	佐藤洋一郎 H15. 4. 1～H17. 3.31	11代	田代治弘 H 29.4. 1～R3.3.31
12代	目黒修世 H17. 4. 1～H19. 3.31	12代	小林美和 R3.4.1
13代	長谷川孝志 H19. 4. 1～H21. 3.31		
14代	東條勝 H21. 4. 1～H23. 3.31		
15代	夏井孝二 H23. 4. 1～H24. 3.31		
16代	佐藤新一 H24. 4. 1～H25. 3.31		
17代	斎藤茂 H25. 4. 1～H26. 3.31		
18代	佐藤喜幸 H26. 4. 1～H28. 3.31		
19代	高久寛行 H28. 4. 1～H31. 3.31		
20代	岩橋隆明 H31. 4. 1～		

9. 隣接消防機関相互応援協定締結状況

応援協定等の名称	締 結 市 町 村	締 結 年 月 日	協 定 内 容
消防相互応援協定	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部	昭和47年11月28日	火災、救急事故等の相互応援
消防相互応援協定	新潟県阿賀町消防本部	昭和52年3月26日	火災、救急事故等の相互応援
消防相互応援協定	南会津地方広域市町村圏組合消防本部	平成7年8月29日	火災、救急事故等の相互応援
消防相互応援協定	山形県置賜広域行政事務組合消防本部	平成25年4月1日	火災、救急事故等の相互応援
消防相互応援協定	山形県西置賜広域行政組合消防本部	平成25年9月20日	火災、救急事故等の相互応援
消防無線統制覚書	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部 南会津地方広域市町村圏組合消防本部	平成7年8月31日	特別応援時の消防無線統制
磐越自動車道 消防相互応援協定	福島県磐越自動車道沿線 消防本部（4消防本部）	平成8年10月17日	消防業務の相互応援
磐越自動車道 消防相互応援協定	新潟県阿賀町消防本部	平成9年9月24日	消防業務の相互応援
福島県広域消防 相互応援協定	福島県内消防本部（12）	平成9年12月26日	大規模災害時等の相互応援
火災原因調査に係る 相互応援協定	福島県内消防本部（12）	平成11年12月27日	火災原因調査 応援体制



総務



1. 令和3年度喜多方地方広域市町村圏組合一般会計予算

＜ 歳 入 ＞

(単位:千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比 較	本年度予算 の 百 分 率
1. 分担金及び負担金	2,007,534	1,963,334	44,200	59.4
2. 使用料及び手数料	56,942	57,624	▲ 682	1.7
3. 国庫支出金	3,806	27,818	▲ 24,012	0.1
4. 県支出金	1,598	1,599	▲ 1	0.0
5. 財産収入	104	248	▲ 144	0.0
6. 寄付金	2	2	0	0.0
7. 繰越金	77,754	6,000	71,754	2.3
8. 諸収入	13,531	13,439	92	0.4
9. 組合債	1,135,000	1,183,600	▲ 48,600	33.6
10. 繰入金	86,076	47,252	38,824	2.5
歳入合計	3,382,347	3,300,916	81,431	100.0

＜ 歳 出 ＞

(単位:千円)

款	本年度予算額	前年度予算額	比 較	本年度予算 の 百 分 率
1. 議会費	1,460	1,460	0	0.0
2. 総務費	172,422	148,393	24,029	5.1
3. 衛生費	811,159	720,473	90,686	24.0
4. 消防費	2,156,933	2,212,337	▲ 55,404	63.8
5. 公債費	230,373	208,253	22,120	6.8
6. 予備費	10,000	10,000	0	0.3
歳出合計	3,382,347	3,300,916	81,431	100.0

予 算 額

(単位:円)

年度	一般会計 予 算 額 (千円)	消 防 予 算 額 (千円)	割 合 (%)	消 防 予 算 額 に 対 す る 額			
				人口(人)	1人当り	世帯数	一世帯当り
22	2,010,155	1,033,173	51.4	62,920	16,420	22,398	46,128
23	1,842,456	891,626	48.4	62,145	14,348	22,549	39,542
24	1,803,300	903,636	50.1	62,698	14,413	22,365	40,404
25	1,816,400	839,050	46.2	61,429	13,659	22,370	37,508
26	2,579,000	1,450,699	56.3	60,584	23,945	22,371	64,847
27	3,657,290	1,022,235	28.0	59,688	17,126	22,433	45,568
28	2,717,456	945,589	34.8	58,795	16,083	22,454	42,112
29	2,090,607	1,009,273	48.3	57,696	17,493	22,336	45,186
30	2,224,897	1,195,695	53.7	56,735	21,075	22,338	53,527
31	3,300,916	2,212,337	67.0	55,798	39,649	22,360	98,942
R2	3,382,347	2,156,933	63.8	54,917	39,276	22,420	96,206

注 人口、世帯数は毎年4月1日現在

2. 消防職員配置状況

令和3年4月1日現在

階級別 所属別		合 計	消 防 監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消 防 士
消 防 本 部	消 防 長	1	1						
	次 長	1		1					
	総 務 課	課 長	1	1					
		総 務 係	2		1	1			
		財 政 係	2		1	1			
		総務課付	1				1		
	小 計		8	1	2	2	1		
	予 防 課	課 長	1	1					
		予 防 係	1		1				
		危 険 物 係	1		1				
	小 計		3	1	2				
	警 防 課	課 長	1	1					
		警 防 係	1		1				
		救急救助係	1		1				
		通信指令係	7		3	2	2		
	小 計		10		3	5	2		
喜 多 方 署	署 長	(1)		(1)					
	喜 多 方 署	40			5	12	15	2	6
	北 塩 原 分 署	13			3	4	4	1	1
	山 都 分 署	13			3	4	4	1	1
	小 計	66 (1)		(1)	11	20	23	4	8
西 会 津 署	署 長	1		1					
	西 会 津 署	18			2	6	7		3
	小 計	19		1	2	6	7		3
合 計		106 (1)	1	6 (1)	22	30	33	4	11

()の数字については、兼務する職員数とする。

3. 階級別勤続年数別消防吏員数

令和3年4月1日現在

階級別 勤続年数	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	合 計
5 年 未 満						1	11	12
5 年 以 上					18	3		21
10 年 以 上				6	13			19
15 年 以 上				10	2			12
20 年 以 上			7	6				13
25 年 以 上			8	8				16
30 年 以 上	1	5	7					13
合 計	1	5	22	30	33	4	11	106
平均 勤 続 年 数	39.0	36.4	26.9	18.9	9.0	6.0	3.1	16.2

4. 階級別年齢別消防吏員数

令和3年4月1日現在

階級別 年齢別	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	合 計
20 歳 未 満							4	4
20 ～ 24						1	7	8
25 ～ 29					5	3		8
30 ～ 34					25			25
35 ～ 39				10	2			12
40 ～ 44				13				13
45 ～ 49			15	6				21
50 ～ 54			5	2				7
55 歳 以 上	1	5	2					8
合 計	1	5	22	31	32	4	11	106
平 均 年 齢	57.0	54.5	47.3	40.8	30.8	27.8	23.0	37.1

5. 消防職員研修実施状況

令和3年4月1日現在

階級別 科目別		人 員	消 防 監	消 司	防 長	消 司	防 令	消 司	防 令	消 補	消 士	防 長	消 副	防 士	消 防 士
消 防 大 学 校	本 科	2	1	1											
	警 防 科	4				2	2								
	予 防 科	5				5									
	救 急 科	2				2									
	救 助 科	3		1	2										
	幹 部 科	5			5										
	火 災 調 査 科	4		1	2	1									
	危 険 物 科	1			1										
	自主防災育成コース	2			1	1									
	危機管理・国民保護コース	3		1	1	1									
薬 剤 投 与 追 加 講 習															
救急救命（東京研修所）		33	1	1	7	17	7								
救急救命（東京消防庁）		2				2									
救急救命（九州研修所）		9			5	4									
県 消 防 大 学 校	警 防 科	8			1		6	1							
	予 防 科	2			2										
	危 険 物 科	2				2									
	予 防 査 察 科	12			3	7	2								
	火災原因調査科	17		4	5	4	4								
	救 急 科	救 急 科	63	1	4	8	7	29	3	11					
		I 課 程	10			4	6								
		II 課 程	24	1	4	13	6								
		標 準 課 程 （ 救 急 科 ）	27			9	18								
	初 級 幹 部 科	18		1	8	7	2								
	中 級 幹 部 科	12		2	7	3									
	林 野 火 災 対 策 科	3		1	2										
	特 殊 災 害 科	5		1	2	1	1								
	救 助 科	25	1	4	11	5	4								
	山 岳 救 助 科	2				2									
	指 揮 隊 長 科	10			9	1									
	機 関 科	6				1	5								
	ポンプ車操法指導科	6				1	5								
	処置拡大（静脈路確保）	13			2	9	2								
	処置拡大（ビデオ喉頭鏡）	13			1	10	2								
	放 射 線 基 礎 研 修	97	1	4	20	25	30	3	14						
指導救命士研修		5				5									
山岳遭難救助研修会		5			4	1									

6. 消防職員資格取得状況

令和3年4月1日現在

資格別			階級	合 計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
消防関係	自動車 運転免許	中型限定解除		22	1		1	6	10	1	3
		大型 1 種		71		4	20	27	14	4	2
		大型 2 種		4			4				
		大型 特殊		17		2	4	9	2		
	移動式クレーン運転			30		3	7	11	8	1	
	玉掛け技能			30		3	8	12	5	2	
	車両系機械運転技師			1			1				
	小型船舶（2級）			35	1	3	11	11	6	2	1
	陸上特殊 無線技士	第 二 級		21		1	6	12		1	1
		第 三 級		56	1	1	12	9	16	5	12
救急関係	救急隊員 資格	救急救命士		25	1	1	6	16	1		
		標準課程		73			8	27	24	3	11
		Ⅱ 課程		22	1	4	13	4			
	指導救命士			4				4			
	気管挿管実施救急救命士			10			2	8			
	薬剤投与実施救命士			35			7	18	10		
	JPTEC インストラクター			8				2	5		1
予防関係	消防設備士	甲 種 特 類		1			1				
		甲種(1類)		7		1	4		2		
		甲種(2類)		2		1	1				
		甲種(3類)		2		1	1				
		甲種(4類)		8	1	1	4	1	1		
		甲種(5類)		4		1	2		1		
		乙種(1類)		1			1				
		乙種(2類)		1			1				
		乙種(3類)									
		乙種(4類)		8			3	4			1
		乙種(5類)									
		乙種(6類)		48	1	4	14	18	8	2	1
		乙種(7類)		5			3		2		
	危険物 取扱者	甲 種									
		乙種(1類)		3				2	1		
		乙種(2類)		1					1		
		乙種(3類)		2			1		1		
		乙種(4類)		60	1	3	15	21	16	2	2
		乙種(5類)		2			1		1		
		乙種(6類)		5			1	2	2		
	電気工事士			2				1	1		
	予防技術 検定合格者	消防設備		15			6	3	4	2	
		防火査察		36			8	11	15	1	1
		危険物		10			4	4	2		

7. 消防車両の配置状況

令和3年4月1日現在

所属	無線 番号	車種名	車名	登録番号	型式	年式	ポンプ			配 置 年月日
							ぎ装社名	級 別	型 別	
喜 多 方	指揮 1	指 揮 車	ト ヨ タ	800 さ 2184	LDF-KDH206V	H29年				H29.12.15
	指揮 2	指 揮 車	三 菱	800 さ 1446	DBA-GF8W	H25年				H25.10.18
	指揮 3	指 揮 車	三 菱	800 す 3010	DBA-CW5W	H18年				H18.9.29
	ポンプ 1	ポンプ 車	日 野	800 は 16	ADG-GX7JGWA カイ	H19年	日 機	A - 2	C D - II (水槽付)	H19.3.2
	化学 1	化 学 車	日 野	800 は 231	SDG-GX7JGAA カイ	H29年	日 機	A - 2	化学 - II	H29.2.20
	支援 1	災害支援 車	三 菱	800 さ 923	PDG-BG64DG	H23年				H23.3.13
	ポンプ 2	ポンプ 車	日 野	830 さ 1912	2KG-XZU685M	R1年	日 野	A - 2	C D - I	R1.12.12
防 署	救急 1	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	800 さ 1272	CBF-TRH226S	H24年				H24.12.25
	救急 2	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	830 す 1908	CBF-TRH226S	R1年				R1.8.29
	救急 3	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	800 さ 297	CBF-TRH226S	H19年				H19.11.1
	救助 1	救 工 車	日 野	800 は 143	KK-GX1JGDA カイ	H13年				H13.3.21
北 塩 原 分 署	指揮 1	指 揮 車	三 菱	800 さ 692	DBA-CW5W	H21年				H21.10.29
	ポンプ 1	ポンプ 車	日 野	830 す 1811	TKG-XZU685M	H30年	森 田	A - 2	C D - I	H30.11.9
	救急 1	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	800 さ 910	CBF-TRH226S	H23年				H23.1.25
山 都 分 署	指揮 1	指 揮 車	三 菱	800 さ 1254	DBA-CW5W	H24年				H24.11.21
	ポンプ 1	ポンプ 車	日 野	830 さ 1802	TKG-XZU685M	H30年	森 田	A - 2	C D - I	H30.2.6
	救急 1	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	830 さ 1808	CBF-TRH226S	H30年				H30.8.23
西 会 津 消 防 署	指揮 1	指 揮 車	ト ヨ タ	800 さ 568	GF-RZN185W	H11年				H11.7.28
	指揮 2	指 揮 車	ト ヨ タ	830 す 1911	QDF-GDH206V	R1年				R1.11.28
	ポンプ 1	ポンプ 車	日 野	800 さ 541	BDG-XZU378M	H21年	日 機	A - 2	C D - I	H21.2.23
	水槽 1	水 槽 車	日 野	800 は 229	SDG-GX7JGAA カイ	H29年	森 田	A - 2	I - B	H29.1.12
	救急 1	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	800 さ 1485	CBF-TRH226S	H25年				H25.12.5
	救急 2	高 規 格 救 急 車	ト ヨ タ	800 さ 780	CBF-TRH226	H22年				H22.3.30

予 防



1. 防火対象物の現況

令和3年3月31日現在

政令項目別			区 分	対 象 物 数	喜 多 方 市	北 塩 原 村	西 会 津 町
総 数				2,399	1,789	368	242
1	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場		4	2	1	1
	ロ	公会堂又は集会場		52	44	5	3
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等		1	1	0	0
	ロ	遊技場又はダンスホール		10	8	0	2
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等		0	0	0	0
	ニ	カラオケボックス・インターネットカフェ等		2	2	0	0
3	イ	待合・料理店等		6	2	0	4
	ロ	飲 食 店		75	51	14	10
4		百貨店・マーケット等		112	100	4	8
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所等		290	39	230	21
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅		281	248	21	12
6	イ	(1)条件を満たす病院等		9	9	0	0
		(2)診療科名中に特定診療科名を有する診療所等		0	0	0	0
		(3)(1)を除く病院、入所施設を有する助産所等		8	8	0	0
		(4)入院させる施設を有しない診療所等		15	14	0	1
	ロ	(1)老人短期入所施設その他これに類する施設		34	26	2	6
		(2)救護施設		2	2	0	0
		(3)乳児院		0	0	0	0
		(4)障がい児入所施設		0	0	0	0
		(5)障がい者支援施設その他これに類する施設		0	0	0	0
	ハ	(1)老人デイサービスセンターその他これに類する施設		15	10	2	3
		(2)更生施設		0	0	0	0
		(3)助産施設その他これに類する施設		27	25	1	1
		(4)児童発達支援センターその他これに類する施設		0	0	0	0
		(5)身体障がい者福祉センターその他これに類する施設		18	17	0	1
	ニ	幼稚園・特別支援学校		6	4	2	0
7		小学校・中学校・高等学校等		76	61	6	9
8		図書館・博物館・美術館等		14	11	3	0
9	イ	公衆浴場(蒸気浴場・熱気浴場等)		0	0	0	0
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場		2	2	0	0
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場		3	2	0	1
11		神社・寺院・教会等		17	13	0	4
12	イ	工場又は作業場		449	391	15	43
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ		1	0	0	1
13	イ	自動車車庫又は駐車場		31	16	7	8
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫		0	0	0	0
14		倉 庫		208	187	7	14
15		前各号に該当しない事業場		369	288	25	56
16	イ	特定防火対象物を含む複合用途防火対象物		179	132	22	25
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		68	62	1	5
16の2		地 下 街		0	0	0	0
16の3		準地下街		0	0	0	0
17		重要文化財・重要民俗資料館等の建造物		15	12	0	3
18		延長50メートル以上のアーケード		0	0	0	0
19		市町村長の指定する山林		0	0	0	0
20		総務省令で定める舟車		0	0	0	0

2. 防火対象物定期点検報告制度に係る該当対象物数

令和3年3月31日現在

区 分 政令項目別			該 当 対 象 物	喜多方消防署		北塩原分署		山都分署		西会津消防署	
				第一号該当	第二号該当	第一号該当	第二号該当	第一号該当	第二号該当	第一号該当	第二号該当
総 数			73	49	2	14		4		4	
1	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場	2	1		1					
	ロ	公会堂又は集会場	24	18				3		3	
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等									
	ロ	遊技場又はダンスホール	3	3							
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス・インターネットカフェ等									
3	イ	待合・料理店									
	ロ	飲 食 店	6	2		4					
4		百貨店・マーケット	10	10							
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所等	10	2	1	7					
6	イ	(1)条件を満たす病院等	4	3	1						
		(2)診療科名中に特定診療科名を有する診療所等									
		(3)(1)を除く病院、入所施設を有する助産所等									
		(4)入院させる施設を有しない診療所等									
	ロ	(1)老人短期入所施設その他これに類する施設	1	1							
		(2)救護施設									
		(3)乳児院									
		(4)障がい児入所施設									
		(5)障がい者支援施設その他これに類する施設									
	ハ	(1)老人デイサービスセンターその他これに類する施設									
		(2)更生施設									
		(3)助産施設その他これに類する施設									
		(4)児童発達支援センターその他これに類する施設									
		(5)身体障がい者福祉センターその他これに類する施設									
	ニ	幼稚園・特別支援学校									
9	イ	公衆浴場(蒸気浴場・熱気浴場等)									
16	イ	特定防火対象物を含む複合用途防火対象物	13	9		2		1		1	
16の2		地 下 街									

備考

該当対象物……防火対象物点検資格者による防火管理に関する点検が必要な防火対象物

第一号該当……収容人員が300人以上の防火対象物

第二号該当……地階又は3階以上の階に特定用途があり、かつ階段が屋内、1系統のみのもの

3. 防火対象物立入検査実施状況及び防火管理者選任状況

令和2年3月31日現在

政令項目別 区 分			防火 対象 物数	査 察 件 数	防火管理者が必要 な防火対象物数		選 任 の 割 合 (%)
					甲種防火 対象物数	乙種防火 対象物数	
総 数			2,399	351	621	91	87.78%
1	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場	4	0	4	2	100.00%
	ロ	公会堂又は集会場	52	8	42	8	100.00%
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ等	1	3	1	0	100.00%
	ロ	遊技場又はダンスホール	10	3	10	0	100.00%
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等	0	0	0	0	
	ニ	カラオケボックス・インターネットカフェ等	2	0	1	0	100.00%
3	イ	待合・料理店等	6	6	5	3	100.00%
	ロ	飲 食 店	75	28	30	21	76.47%
4		百貨店・マーケット等	112	23	61	6	82.09%
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所等	290	42	82	10	97.83%
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅	281	8	44	0	81.82%
6	イ	(1)条件を満たす病院等	9	1	6	0	100.00%
		(2)診療科名中に特定診療科名を有する診療所等	0	0	0	0	
		(3)(1)を除く病院、入所施設を有する助産所等	8	1	3	0	100.00%
		(4)入院させる施設を有しない診療所等	15	5	15	0	100.00%
	ロ	(1)老人短期入所施設その他これに類する施設	34	7	32	0	96.88%
		(2)救護施設	2	1	3	0	100.00%
		(3)乳児院	0	0	0	0	
		(4)障がい児入所施設	0	0	0	0	
		(5)障がい者支援施設その他これに類する施設	0	0	0	0	
	ハ	(1)老人デイサービスセンターその他これに類する施設	15	4	11	0	100.00%
		(2)更生施設	0	0	0	0	100.00%
		(3)助産施設その他これに類する施設	27	13	19	1	100.00%
		(4)児童発達支援センターその他これに類する施設	0	0	0	0	
		(5)身体障がい者福祉センターその他これに類する施設	18	1	3	0	100.00%
	ニ	幼稚園・特別支援学校	6	3	3	2	100.00%
7		小学校・中学校・高等学校等	76	8	56	0	100.00%
8		図書館・博物館・美術館等	14	5	8	3	81.82%
9	イ	公衆浴場(蒸気浴場・熱気浴場等)	0	0	0	0	
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	2	1	1	0	100.00%
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	3	0	1	0	100.00%
11		神社・寺院・教会等	17	4	2	0	100.00%
12	イ	工場又は作業場	449	60	46	0	84.78%
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ	1	1	0	0	100.00%
13	イ	自動車車庫又は駐車場	31	7	0	0	100.00%
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	0	0	0	0	
14		倉 庫	208	12	0	1	100.00%
15		前各号に該当しない事業場	369	40	45	13	79.31%
16	イ	特定防火対象物を含む複合用途防火対象物	179	39	84	19	74.76%
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	68	10	2	2	0.00%
16の2		地下街	0	0	0	0	
16の3		準地下街	0	0	0	0	
17		重要文化財・重要民俗資料館等の建造物	15	7	1	0	0.00%
18		延長50メートル以上のアーケード	0	0	0	0	
19		市町村長の指定する山林	0	0	0	0	
20		総務省令で定める舟車	0	0	0	0	

※査察件数については、平成31年4月1日～令和2年3月31日までの期間

4. 予防関係条例届出状況

令和2年度

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
防火対象物使用開始届出	2	4	6	9	4	6	5	12	6	6	10	6	76
防火管理者選任届出	2	2	4	14	20	2	6	1	13	10	5	8	87
防火管理者解任届出	2	2	4	14	20	1	6	1	8	9	2	6	75
消防計画書	2	2	4	30	28	5	11	3	10	14	5	9	123
熱風炉													
炉又はかまど						1	2						3
ボイラー設備	1	1		1			4		1	1		2	11
変電設備	1	3	1	1		14		1	1		1	3	26
発電設備		1	1		19	18							39
蓄電池設備	3	2	1	2	1		1	4	2	2	1		19
ネオン管灯設備													
少量危険物届出	1		2	2	1		2		2	4	3	4	21
圧縮アセチレンガス	2		1		1		2	2	1	2	2		13
液化石油ガス	1					1							2
裸火等承認申請													
合計	17	17	24	73	94	48	39	24	44	48	29	38	495

5. 防火対象物別建築同意処理状況

令和2年度

政令項目別 工 事 別			総 数	新 築	増 築	改 築	用 途 変 更	増 改 築	大規模 模様替	移転 その他
総 数			88	82	6					
1	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場								
	ロ	公会堂又は集会場								
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等								
	ロ	遊技場又はダンスホール								
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗等								
3	イ	待合・料理店								
	ロ	飲 食 店		3						
4		百貨店・マーケット等		3						
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所								
	ロ	寄宿舍・下宿又は共同住宅		4						
6	イ	病院・診療所又は助産所			1					
	ロ	特別養護老人ホーム・介護老人保健施設等								
	ハ	老人デイサービスセンター・老人ホーム等		2						
	ニ	幼稚園・特別支援学校								
7		小学校・中学校・高等学校等								
8		図書館・博物館・美術館等								
9	イ	公衆浴場(蒸気浴場・熱気浴場等)								
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場								
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場								
11		神社・寺院・教会等								
12	イ	工場・作業場		5	1					
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫又は駐車場		1						
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫								
14		倉 庫		2	2					
15		前各号に該当しない事業場		10	1					
16	イ	特定防火対象物を含む複合用途防火対象物		4						
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物								
専 用 住 宅				16	1					
そ の 他				32						

6. 市町村別建築同意処理状況

令和2年度

種別 市町村別	総 数	新 築	増 築	改 築	用途変更	大規模 模様替	移 転 その他
総 数	88	82	6				
喜多方市	81	76	5				
北塩原村							
西会津町	7	6	1				

7. 年度別建築同意処理状況

種 別 年度別	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度
総 数	88	79	83	74	84
専 用 住 宅	16	21	30	18	15
特殊建築物	40	35	38	25	33
そ の 他	32	23	15	31	36

8. 消防用設備等届出処理状況

令和2年度

種 別 \ 署 別			総 数	喜多方消防署	北 塩 原 分 署	山 都 分 署	西会津消防署
消 火 設 備	消 火 器	設置届	47	42	2		3
	屋内消火栓設備	着工届	2	2			
		設置届	2	2			
	スプリンクラー 設 備	着工届	2	1			1
		設置届	3	2			1
	不 活 性 ガ ス 消 火 設 備	着工届					
		設置届					
	ハロゲン化 物 消 火 設 備	着工届					
		設置届					
	粉末消火設備	着工届	2	2			
		設置届	3	2		1	
	屋外消火栓設備	着工届					
		設置届					
	動 力 消 防 ポンプ 設 備	着工届					
		設置届					
警 報 設 備	自動火災報知設備	着工届	29	20	3	2	4
		設置届	77	46	18	6	7
	ガス漏れ火災 警 報 設 備	着工届					
		設置届					
	漏電火災警報器	設置届					
	消防機関へ通報 する火災報知設備	着工届	1	1			
		設置届					
	非 常 ベ ル	設置届					
	自動式サイレン	着工届					
		設置届					
放 送 設 備	着工届						
	設置届	1		1			
避 難 設 備	す べ り 台	設置届					
	避 難 は し ご	設置届					
	緩 降 機	設置届					
	その他避難器具	設置届	1		1		
	誘 導 灯	着工届	22	18	1		3
		設置届	50	40	2	5	3
	誘 導 標 識	設置届	26	23	1		2
消 防 用 水		設置届					

9. 危険物製造所等の現況

令和3年3月31日現在

施設別 署 別	総 数	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
			小 計	屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	小 計	給 油	販 売	一 般	移 送
総 数	399		266	29	52	1	126	1	55	2	133	51	6	76	
喜多方消防署	272		179	22	50	1	66		39	1	93	36	6	51	
北 塩 原 分 署	53		38				33	1	4		15	5		10	
山 都 分 署	26		14		1		8		5		12	3		9	
西会津消防署	47		34	7	1		19		7		13	7		6	

10. 危険物製造所等の立入り検査実施状況及び保安監督者選任状況

令和3年3月31日現在

施設別 種 別	総 数	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
			小 計	屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	小 計	給 油	販 売	一 般	移 送
総 数	399		266	29	52	1	126	1	55	2	133	51	6	76	
立入検査件数	129		91	3	4	1	36		47		38	22		16	
保安監督者が 必要な製造所 等数	164		80	22	52		5	1			84	51	1	32	
保 安 監 督 者 選任済製造所 等数	151		76	21	49		5	1			75	51	1	23	

※立入検査件数については、平成31年4月1日～令和2年3月31日までの期間

11. 危険物施設の許可等の件数

令和2年度

施設別 署 別		総 数	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所				
				小 計	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油	販 売	一 般	移 送
許 可	設 置	6		5	1			1		3		1	1			
	変 更	21		4				2		2		17	13		4	
完 成 検 査	設 置	6		5				1		4		1	1			
	変 更	21		4				2		2		17	13		4	
廃 止 届		10		8	1			3		4		2	1		1	
仮 使 用 承 認		16										16	13		3	
予 防 規 程 認 可		4										4	4			

12. 幼年消防クラブ一覧表

令和3年4月1日現在

番号	ク ラ ブ 名	クラブ 員 数	結成年月日	番号	ク ラ ブ 名	クラブ 員 数	結成年月日
1	第一こども園幼年消防クラブ	69	S62. 8. 29	6	姥堂こども園幼年消防クラブ	48	S60. 5. 31
2	第三こども園幼年消防クラブ	38	H2. 6. 1	7	堂島こども園幼年消防クラブ	77	S60. 5. 31
3	第四こども園幼年消防クラブ	56	S63. 6. 28	8	高郷こども園幼年消防クラブ	30	H8. 9. 3
4	すぎっここども園幼年消防クラブ	19	H10. 6. 1	9	北塩原村幼年消防クラブ	43	H8. 9. 3
5	駒形こども園幼年消防クラブ	44	S60. 5. 31				

13. 少年消防クラブ一覧表

令和3年4月1日現在

番号	ク ラ ブ 名	クラブ 員 数	結成年月日	番号	ク ラ ブ 名	クラブ 員 数	結成年月日
1	市立第一小学校 少年消防クラブ	12	S39. 4. 1	10	市立第三中学校 少年消防クラブ	193	S39. 4. 1
2	市立第二小学校 少年消防クラブ	62	S30. 4. 1	11	市立塩川小学校 少年消防クラブ	111	S61. 4. 15
3	市立松山小学校 少年消防クラブ	23	S30. 4. 1	12	市立高郷小学校 少年消防クラブ	17	H19. 4. 1
4	市立関柴小学校 少年消防クラブ	34	S30. 4. 1	13	市立加納小学校 少年消防クラブ	19	S55. 4. 1
5	市立豊川小学校 少年消防クラブ	42	H1. 2. 2	14	村立さくら小学校 少年消防クラブ	45	H19. 4. 1
6	市立慶徳小学校 少年消防クラブ	27	S30. 4. 1	15	村立裏磐梯小学校 少年消防クラブ	18	S56. 4. 1
7	市立上三宮小学校 少年消防クラブ	17	S30. 4. 1	16	市立熱塩小学校 少年消防クラブ	12	S55. 12. 1
8	市立第一中学校 少年消防クラブ	264	S30. 4. 1	17	西会津小学校 少年消防クラブ	37	H29. 5. 2
9	市立第二中学校 少年消防クラブ	238	S33. 4. 1				

14. 女性防火クラブ一覧表

令和3年4月1日現在

番号	ク ラ ブ 名	クラブ 員 数	結成年月日	番号	ク ラ ブ 名	クラブ 員 数	結成年月日
1	熱塩加納地区 婦人消防隊	127	S54. 10. 27	5	北塩原村 桧原婦人消防隊	6	S50. 4. 1
2	高郷地区 婦人消防隊	36	S56. 3. 28	6	北塩原村 裏磐梯婦人消防隊	14	S40. 4. 1
3	北塩原村 北山婦人消防隊	16	S39. 4. 1				
4	北塩原村 大塩婦人消防隊	22	S47. 4. 1				

15. 自主防災組織一覧表

令和3年4月1日現在

【喜多方市】 (旧喜多方市)

番号	組 織 名	世帯数	結成年月日	番号	組 織 名	世帯数	結成年月日
1	山崎防災会	49	H16. 6. 13	17	譲屋防災会	46	H25. 9. 1
2	楚々木防災会	9	H17. 3. 14	18	高畑区自主防災会	85	H26. 4. 1
3	真木防災会議	32	H17. 3. 18	19	清水台自治防災会	226	H26. 4. 13
4	下台団地防災会	93	H17. 9. 15	20	熊倉上防災会	93	H26. 6. 30
5	押切南行政区自主防災会	54	H18. 4. 1	21	熊倉下防災会	91	H26. 6. 30
6	百目二貫分防災会	40	H20. 6. 1	22	本林防災会	31	H27. 4. 1
7	北桜が丘防災会	256	H20. 12. 21	23	下町北部自主防災会	72	H28. 4. 1
8	中村地区防災会	42	H21. 1. 1	24	栄町自主防災会	100	H28. 4. 24
9	西四ツ谷防災会	345	H21. 4. 5	25	北町々内会自主防災会	103	H28. 4. 1
10	七本木防災会	19	H22. 4. 1	26	芦平自主防災会	27	H29. 4. 1
11	塗物町自主防災会	633	H24. 5. 13	27	小沼地区防災会	62	H29. 4. 1
12	村松二区防災会	189	H24. 8. 11	28	東桜方丘防災会	321	H29. 4. 2
13	松が丘防災会	282	H25. 4. 1	29	吉沢自主防災会	9	H30. 6. 15
14	豊岡防災会	105	H25. 4. 1	30	幸町防災会	135	R1. 5. 15
15	村松第一区防災会	211	H25. 4. 1	31	本仲町自主防災会	52	R1. 6. 11
16	花園町自主防災会	222	H25. 4. 20	32			

(喜多方市熱塩加納町)

1	板ノ沢集落防災会	10	H15. 12. 1	4	五目行政区防災会	36	H31. 4. 1
2	黒岩集落防災会	9	H16. 4. 5	5	野辺沢防災会	39	R1. 5. 16
3	大里防災会	20	H19. 6. 1	6			

(喜多方市塩川町)

1	橋本前田防災会	28	H17. 4. 1	6	第10区防災会	20	H25. 3. 17
2	中ノ目防災会	36	H20. 11. 20	7	塩川第1区安心みまも	139	H27. 9. 1
3	大沢行政区	86	H21. 3. 30	8	第13区自主防災会	142	H29. 4. 1
4	藤の木防災会	86	H21. 12. 1	9	第6区自主防災会	33	H31. 4. 1
5	第14区防災会	104	H22. 10. 1	10			

(喜多方市山都町)

1	最明寺防災会	8	H19. 8. 1	7	館原区防災会	82	H21. 5. 11
2	広野行政区防災会	132	H19. 9. 22	8	藤巻区防災会	8	H21. 9. 1
3	木曽防災会	121	H20. 3. 16	9	川入自主防災隊	9	H27. 6. 1
4	堂山防災会	14	H20. 4. 1	10	下村防災会	16	H28. 7. 10
5	上林防災会	82	H20. 4. 1	11	早稲谷防災会	37	R1. 5. 1
6	藤沢区防災会	54	H20. 4. 1	12			

(喜多方市高郷町)

1	塩峯行政区自主防災会	26	H22. 4. 1	10	塩坪行政区自主防災会	38	H25. 4. 1
2	揚津行政区自主防災会	41	H20. 4. 6	11	東羽賀行政区自主防災会	15	H26. 8. 24
3	西羽賀行政区自主防災会	55	H20. 8. 17	12	池ノ原行政区自主防災会	15	H26. 8. 24
4	小土山行政区自主防災会	22	H21. 4. 1	13	本村行政区自主防災会	17	H26. 8. 27
5	田中行政区自主防災会	38	H21. 4. 1	14	大谷行政区自主防災会	14	H26. 9. 10
6	漆窪行政区自主防災会	17	H21. 4. 1	15	峯利田行政区自主防災会	16	H26. 12. 7
7	西黄行政区自主防災会	31	H21. 4. 1	16	三方行政区自主防災会	13	H27. 4. 5
8	川井行政区自主防災会	52	H21. 10. 1	17	利田行政区自主防災会	29	H29. 4. 1
9	吹萩行政区自主防災会	118	H22. 4. 1	18	地割行政区自主防災会	14	H30. 8. 20

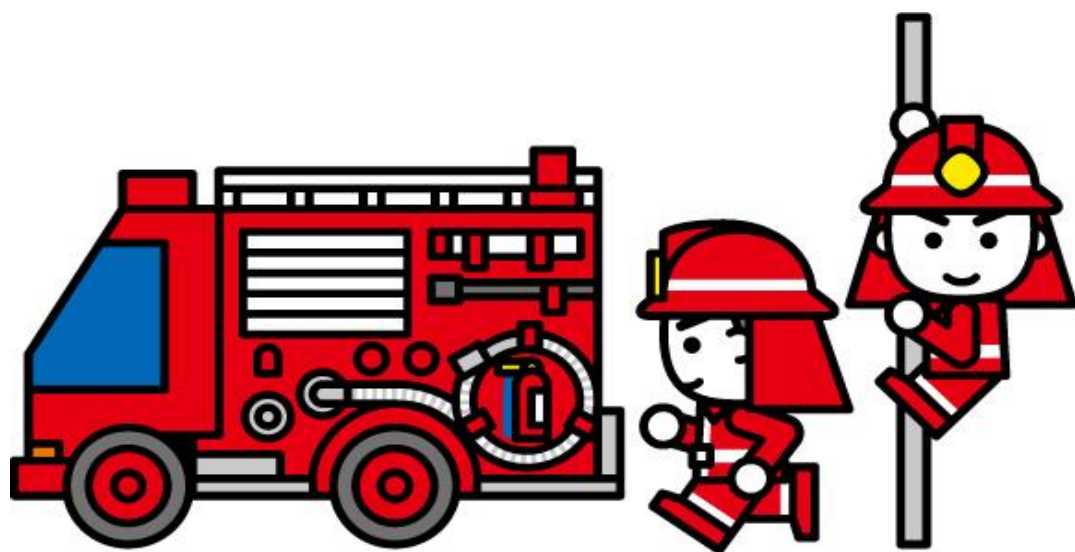
【北塩原村】

1	桧原自主防災会	43	H19. 7. 14	4	長峯防災会	18	H22. 3. 22
2	早稲沢防災会	51	H19. 7. 15	5	剣ヶ峯防災会	100	H25. 4. 1
3	金山防災会	29	H20. 9. 30	6	蛇平自主防災会	70	H28. 3. 27

【西会津町】

1	大舟沢自主防災組織	7		9	宮野自治区自主防災会	11	H17. 4. 1
2	端村自衛消防隊	13	S56. 3. 22	10	杉山自治区自主防災会	17	H17. 4. 1
3	小杉山自主防災組織	7	H 1. 10. 19	11	眞ヶ沢自治区自主防災会	20	H17. 12. 4
4	西林自主防災組織	55	H 2. 6. 20	12	松峯自治区自主防災会	10	H20. 4. 1
5	八重窪自主消防	8	H14. 10. 12	13	井谷地区自主防災会	12	H21. 6. 20
6	尾登地区自衛消防隊	34	H15. 4. 20	14	第四町内桜栄会防災委員会	66	H22. 3. 28
7	高目地区防災会	24	H15. 8. 2	15	中野区自主防災会	96	H29. 4. 1
8	白坂地区自主防災会	22	H16. 1. 1				

警 防



1. 消防訓練実施状況

令和2年

区 別		月 別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
消 防 演 習	回数		2								1	2	2		7
	台数		7								3	5	4		19
	人員		25								10	16	15		66
各 種 訓 練	回数		104	111	118	222	234	194	178	118	115	119	99	87	1,699
	台数		44	30	36	152	141	115	82	66	39	30	44	32	811
	人員		544	568	574	1183	1170	927	885	577	514	533	509	364	8,348
警 防 調 査	回数		3	2			16	12	10	5	2	4	9	4	67
	台数		5	2			17	14	11	6	2	4	7	5	73
	人員		18	7			50	49	24	16	7	8	29	26	234
特 別 警 戒	回数								2				1	14	17
	台数								2				1	14	17
	人員								5				1	31	37
広 報 活 動	回数		28	2	17	22	30	15	4	20		7	23	20	188
	台数		29	2	18	22	30	16	3	25		7	24	21	197
	人員		71	3	29	32	37	25	9	49		12	46	47	360
訓 練 指 導	回数		2	8	1	3		2	7	2	12	24	16	9	86
	台数		2	8	1	3		2	6	2	12	23	13	10	82
	人員		4	11	1	6		3	23	5	27	56	24	20	180
火 災 調 査	回数			2	1	5	2	1		8	1	1	1	3	25
	台数			4		8	2	1		16	3	2	1	3	40
	人員			12	5	25	9	4		58	5	9	5	17	149
合 計	回数		139	125	137	252	282	224	201	153	131	157	151	137	2089
	台数		87	42	55	177	188	147	104	99	56	69	93	82	1199
	人員		662	589	604	1221	1257	1004	946	647	558	625	624	488	9225

2. 警防関係条例届出状況

令和2年

区 別 \ 月 別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
火 災 と ま ぎ ら わ し い 届 出	49	2	6	9	1		1	2		2	5	19	96
煙 火 打 ち 上 げ 届 出	2	3	2		1		1	8	5	6	2	3	33
催 物 届 出											1		1
道 路 通 行 止 届 出	10	5	13	18	12	8	17	17	16	9	24	12	161
道 路 通 行 止 期 間 延 長 届 出						1							1
道 路 通 行 止 解 除 届 出	1		5	4		1					2		13
水 道 断 減 水 届 出		4		1			1	1	6	4	1	5	23
露 店 等 の 開 設 届 出	6	4		1			2			4		3	20
水 素 ガ ス 気 球 の 届 出													
消 火 栓 新 設 報 告 書	1	1										1	3
合 計	69	19	26	33	14	10	22	28	27	25	35	43	351

3. 消防水利の状況

令和2年12月31日現在

区分 市町村名	消火栓		防火水槽(井戸)			その他の利 水	合 計
	公 設	私 設	公 設		私 設		
	65mm	65mm	40m ³ 以上	40m ³ 未満	40m ³ 以上		
喜多方市	1,468	29	185	52	1	1	1,736
北塩原村	192	6	15	8	5		226
西会津町	306		178	85			569
合 計	1,966	35	378	145	6	1	2,531

4. 火災、救急、救助、災害等覚知別状況

令和2年

署別	種別	1 1 9	加 入	駆 付	その他	合 計
喜多方消防署	火 災	11 (1)	4		1	16 (1)
	救 急	1,747	55	99	6	1,907
	救 助	13	2			15
	そ の 他	41	22		5	68
	小 計	1,812 (1)	83	99	12	2,006 (1)
北塩原分署	火 災	1				1
	救 急	94	18	5	1	108
	救 助	2	2			4
	そ の 他	8	4	2		14
	小 計	105	24	7	1	137
山都分署	火 災	2	4		1	7
	救 急	203	19	21		243
	救 助	3				3
	そ の 他	4	2		1	7
	小 計	212	25	21	2	260
西会津消防署	火 災	1				1
	救 急	242	50	49	2	343
	救 助	2	1			3
	そ の 他	9	6	2	1	18
	小 計	254	57	51	3	365
合 計		2,383 (1)	189	178	18	2,768 (1)

◎管外応援出動は括弧書き

火 災



1. 火災等出動状況

令和2年

区 分			月 別	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合 計
火 災 出 動	建 物	回 数		2	1	1				(1)	4	1	1	1	3	14 (1)
		台 数		10	1	8				(1)	20	3	6	5	11	64 (1)
		人 員		29	4	19				(4)	63	5	21	18	42	201 (4)
	車 両	回 数									1					1
		台 数									4					4
		人 員									15					15
	林 野	回 数														
		台 数														
		人 員														
	そ の 他	回 数			1	4	2	1			2					10
		台 数			4	11	8	4			5					32
		人 員			15	33	24	14			14					100
そ の 他 の 出 動	非 火 災	回 数			2	1		1								4
		台 数			4	3		3								10
		人 員			10	11		14								35
	危 険 物 漏 洩	回 数	1	3	1			1					4			10
		台 数	1	3	1			1					4			10
		人 員	3	8	4			3					13			31
	自 火 報 鳴 動	回 数	2		2	2			1	2			4		2	15
		台 数	2		2	5			1	2			4		2	18
		人 員	7		6	18			3	8			11		6	59
	そ の 他	回 数	4	5	1	2	2	2	2	3	3	4 (1)	2	3	3	33 (1)
		台 数	6	6	1	5	2	3	3	3	3	4	5 (2)	2	6	48 (2)
		人 員	18	18	3	14	6	12	8	7	12	10 (4)	5	17	134 (4)	
	安 全 管 理	回 数	2	1	4	2	1	2	1	9	4	3	3	4	4	36
		台 数	2	1	4	5	1	2	2	14	5	4	3	5	5	48
		人 員	5	2	8	15	3	6	5	34	12	12	9	13	13	124
	捜 索	回 数	1		1							1	1	2		6
		台 数	3		2							4	1	15		25
		人 員	9		5							12	1	54		81
	誤 報	回 数													1	1
		台 数													1	1
		人 員													3	3
	そ の 他	回 数			1		1									2
		台 数			2		1									3
		人 員			5		2									7

※ ()内は管外出動

2. 火災総括表

令和2年

区 分 市町村別		火災種別による件数					焼損面積	損 害 額 （単位:千円）					焼 損 棟 数								り災世帯の状況				り 災 人 員	死傷者		出 動 状 況				
		合 計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 の 火 災	建物火災 ㎡ 林野火災等 (a)	合 計	建物火災		林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 の 火 災	火 元 棟				類 焼 棟				全 損	半 損	小 損		合 計	死 者	負 傷 者	放水した ポンプ台数		消 防 隊 員 数	
														全	半	部 分	ぼ や	全	半	部 分	ぼ や											
									焼	焼																			焼	や	焼	焼
総 数		25	13	0	2	10	1056 (0)	50,535	45,186	4,833	85	431	0	7	1	2	3	5	0	10	1	3	0	7	10	19	3	1	101	159	312	1,311
喜 多 方 市	旧喜多方市	12	8	0	1	3	525 (0)	27,861	24,419	2,957	85	400	0	4	1	2	1	4	0	1	0	1	0	3	4	11	2	0	53	132	165	1,003
	熱塩加納町	0	0	0	0	0	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	塩 川 町	3	1	0	1	1	14 (0)	192	156	5	0	31	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2	42	102
	山 都 町	4	2	0	0	2	0 (0)	1,599	0	1,599	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	10	6	27	36
	高 郷 町	3	1	0	0	2	176 (0)	14,559	14,413	146	0	0	0	1	0	0	0	1	0	3	1	1	0	0	1	2	0	0	11	8	31	106
北 塩 原 村		2	0	0	0	2	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9	5	27	24
西 会 津 町		1	1	0	0	0	341 (0)	6,324	6,198	126	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	1	0	3	4	5	0	1	6	6	20	40

3. 署別火災状況

令和2年

区分 署所別	火 災 種 別 による 件 数					焼 損 面 積	損 害 額 （単位:千円）					焼 損 棟 数								り災世帯の状況				罹 災 人 員	死傷者		出 動 状 況				
	合 計	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 の 火 災	建物火災 ㎡ 林野火災等 (a)	合 計	建物火災		林 野 火 災	車 両 火 災	そ の 他 の 火 災	火 元 棟				類 焼 棟				全 損	半 損	小 損		合 計	死 者	負 傷 者	放 水 し た ポンプ台数		消 防 隊 員 数	
								建 物	内 容 物				全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や								署	団	署	団
総 数	25	13	0	2	10	1056 (0)	50,535	45,186	4,833	85	431	0	7	1	2	3	5	0	10	1	3	0	7	10	19	3	1	101	159	312	1,311
喜多方消防署	16	9	0	2	5	539 (0)	28,053	24,575	2,962	85	431	0	5	1	2	1	4	0	2	0	1	0	3	4	11	3	0	70	134	222	1,105
喜多方消防署 北塩原分署	1	0	0	0	1	0 (0)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5	12	24
喜多方消防署 山都分署	7	3	0	0	4	176 (0)	16,158	14,413	1,745	0	0	0	1	0	0	2	1	0	3	1	1	0	1	2	3	0	0	21	14	58	142
西会津消防署	1	1	0	0	0	341 (0)	6,324	6,198	126	0	0	0	1	0	0	0	0	0	5	0	1	0	3	4	5	0	1	6	6	20	40

4. 火災の状況

項 目	単 位	令和2年	令和元年/平成31年	増 減
火 災 件 数	件	25	38	▲ 13
損 害 額	千 円	50,535	51,346	▲ 811
建 物 火 災 損 害 額	千 円	50,019	50,708	▲ 689
建 物 火 災 焼 損 面 積	m ²	1,056	1,854	▲ 798
林 野 火 災 焼 損 面 積	a	0	9	▲ 9
焼 損 棟 数	棟	29	29	0
り 災 世 帯 数	世 帯	10	12	▲ 2
り 災 人 員	人	19	23	▲ 4
死 者 人 数	人	3	7	▲ 4
負 傷 者 人 数	人	1	2	▲ 1
火 災 発 生 周 期	日	14.6	9.6	5
火 災 1 件 当 り 損 害 額	千 円	2,022	1,351	671
建物火災1件当り焼損面積	m ²	81	81	0
建物火災1件当り損害額	千 円	3,848	2,205	1643

5. 火災の内訳

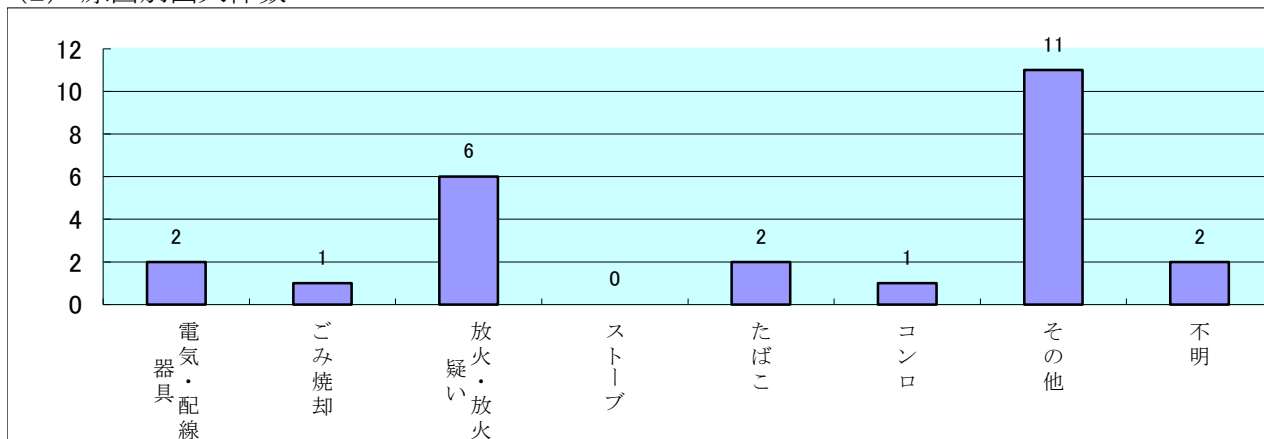
令和2年

(1) 火災種別出火件数及び損害額

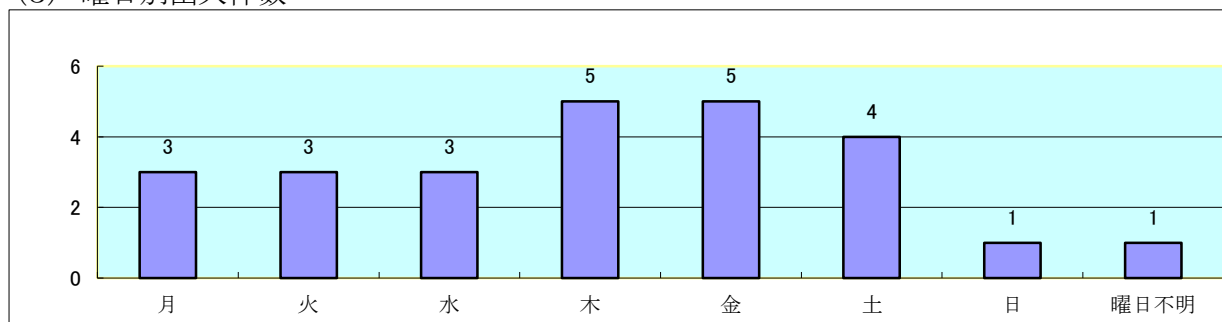
(単位:千円)

火災種別	建物火災	林野火災	車両火災	その他の火災	合計
件数	13	0	2	10	25
損害額	50,142	0	531	103	50,776

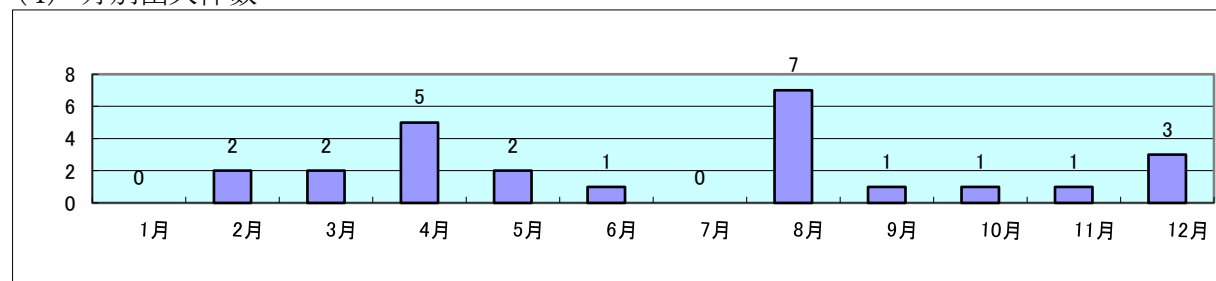
(2) 原因別出火件数



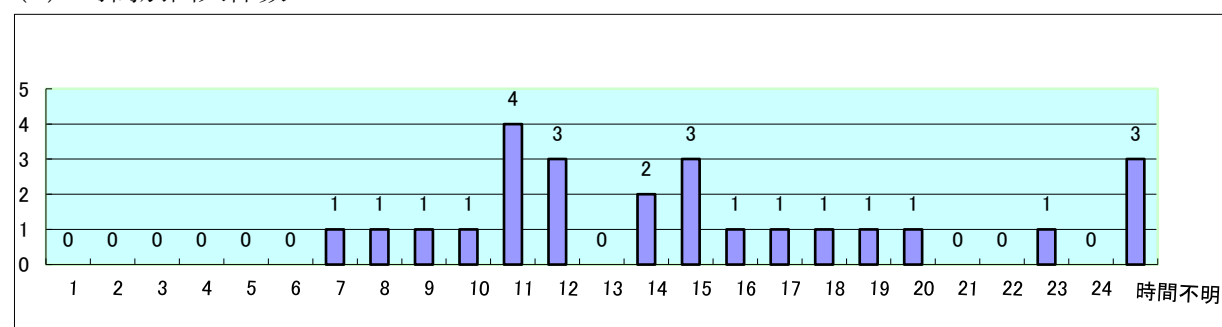
(3) 曜日別出火件数



(4) 月別出火件数



(5) 時間別出火件数



6. 覚知別火災件数

令和元年/平成31年

区 分 \ 種 別	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	その他	計
1 1 9 番	22	1	2	12	37
加 入 電 話					0
駆 け っ け					0
事 後 聞 知					0
そ の 他	1				1
合 計	23	1	2	12	38

7. 過去10年間の市町村別火災発生件数

年 \ 市町村別		平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元 年	令和 2 年
喜 多 方 市	旧喜多方市	15	13	10	10	9	4	16	8	13	15	11
	熱塩加納町	3	2	2	0	0	1	3	2	2	3	0
	塩 川 町	8	8	4	6	8	4	6	3	2	4	4
	山 都 町	0	2	1	2	1	1	1	4	0	1	4
	高 郷 町	2	1	2	3	1	5	5	3	4	3	3
	計	28	26	19	21	19	15	31	20	21	26	22
北 塩 原 村		2	3	1	1	5	1	4	1	2	3	2
西 会 津 町		4	4	1	5	5	8	2	4	3	9	1
合 計		34	33	21	27	29	24	37	25	26	38	25

8. 主な火災誌

(昭和6年5月～)

年 月 日	場 所	概 要
S6. 5.14	耶麻郡加納村	住家、非住家54棟焼損する。
S14. 5.19	〃 桧原村	住家31戸、100棟焼損する。
S22. 5. 1	〃 〃 早稲沢	住家18戸、800坪を焼損する。
S23. 4.19	〃 山都町上ノ原	組合小学校より出火、校舎、講堂、役場3棟400坪焼損する。
S27. 7. 9	〃 松山村	住家11棟、非住家20棟、1,284坪焼損する。
S28. 4.26	〃 加納村五枚沢	住家19戸、非住家7棟、小学校1棟640坪、山林10町歩焼損する。死亡1人。
S28. 5.21	〃 一ノ木村	住家23戸、非住家13棟、公民館など910坪、山林15町歩焼損する。
S30.10.25	〃 山都町朝倉	分校53坪を焼損する。
S32. 3.24	〃 北塩原村	ホテル3階建1棟363坪を焼損する。
S34. 4.22	〃 西会津町奥川	住家13棟、非住家10棟全半焼し、2,752㎡が焼損する。負傷者7人
S35. 2. 9	〃 塩川町堂島	小学校(木造2階建)2357㎡焼損する。
S36. 4.28	〃 高郷村束松	住家12棟、非住家12棟634㎡が焼損する。負傷者4人
S36. 8. 4	〃 北塩原村	旅館1棟1,062㎡を焼損する。
S37. 3.10	〃 西会津町野沢	公衆浴場外、住家15棟3,223㎡焼損する。1人死亡、負傷者1人
S37. 5.10	〃 〃 下野尻	住家28棟、非住家51棟、6,585㎡焼損する。
S37. 8.22	喜多方市関柴町	中学校(木造2階建)2棟10教室1,287㎡焼損する。
S40. 6.16	耶麻郡西会津町上野尻	中学校2階建1棟1,400㎡焼損する。負傷者5人
S41. 4.26	〃 北塩原村桧原	小学校(木造平屋建)2教室299㎡焼損する。
S42. 5.26	〃 〃 大塩	住家45棟、非住家54棟、郵便局、旅館など99棟8,491㎡、山林20ha焼損する。負傷者5人
S43. 8.27	喜多方市上三宮町	旅館より出火、3棟243㎡焼損する。死者1人、負傷者1人
S46. 4. 6	耶麻郡熱塩加納村	住家、非住家557㎡焼損する。

年 月 日	場 所	概 要
S47. 2.19	喜多方市小田付	住家1棟焼損。死者2人
S48. 4.13	喜多方市慶徳町	林野5,165a焼損する。
S49. 9.28	耶麻郡塩川町	中学校921㎡焼損する。
S49.12.30	〃 北塩原村檜原	旅館1棟932㎡焼損する。
S52.11.20	〃 〃	ホテル1棟2,617㎡焼損する。
S57. 2.17	喜多方市豊川町	農協より出火、1棟388㎡焼損する。
S58. 4.27	耶麻郡西会津町	山林約28ha焼損する。
S58. 5. 9	〃 高郷村	小学校より出火、1,612㎡焼損する。
S60. 5.22	〃 北塩原村	ペンション1棟646㎡焼損する。
S61. 1.28	〃 〃	住家1棟247㎡焼損する。死者2人、負傷者1人
S62. 1.19	喜多方市岩月町	住家1棟45㎡焼損する。死者1人
S62. 1.22	〃 寺町	住家1棟21㎡焼損する。死者1人
S62. 3.25	耶麻郡西会津町	住家1棟199㎡焼損する。死者1人
S63. 3.25	喜多方市松山町	軽自動車1台焼損する。死者1人
S64. 1. 2	〃 豊川町	住家1棟195㎡焼損する。死者1人
H元. 4. 4	〃 寺町	住家3㎡焼損する。死者1人
H元.10.24	耶麻郡熱塩加納村鷺田	住家63㎡焼損する。死者1人
H元.10. 8	〃 塩川町	工場796㎡焼損する。
H2. 2.13	喜多方市豊川町	共同住宅1棟半焼し、11㎡焼損する。死者1人
H3. 4. 2	〃 岩月町	住家2棟、作業小屋1棟、土蔵1棟、倉庫1棟、ビニールハウス1棟全焼、作業小屋1棟、土蔵1棟、ビニールハウス1棟部分焼、2,487㎡焼損する。
H3. 8.11	喜多方市諏訪	食堂1棟、住宅2棟、805㎡焼損する。死者2人

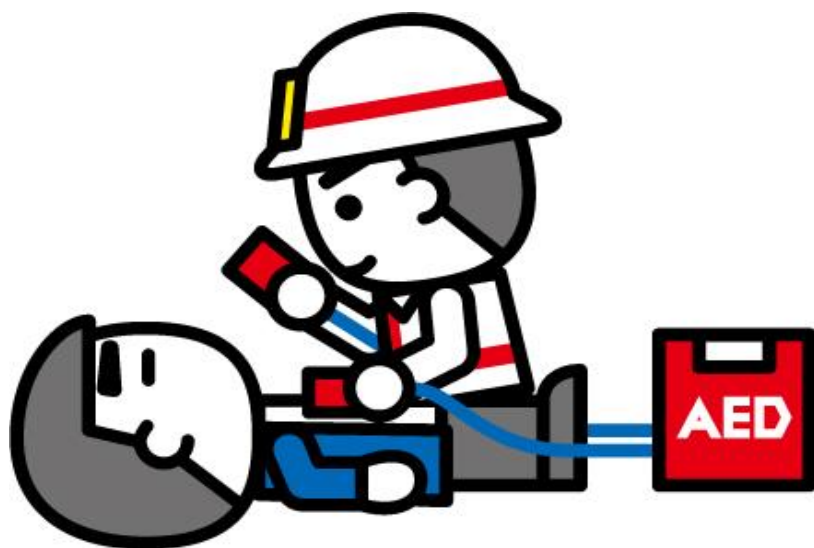
年 月 日	場 所	概 要
H5. 2.23	〃 岩月町	住家1棟190㎡焼損する。死者1人
H5. 4. 4	〃 熊倉町	住家1棟345㎡焼損する。
H5. 4.17	耶麻郡山都町	ショッピングセンター1棟275㎡焼損する。
H5. 8.14	〃 高郷村	住家1棟58㎡焼損する。死者1人
H6. 2.15	〃 塩川町	製材所3棟、飲食店1棟、住家1棟809㎡焼損する。
H6. 3.20	〃 〃	住家2棟718㎡焼損する。
H6. 8.16	〃 西会津町	林野1,000a焼損する。
H7. 2.13	喜多方市字寺町	住家1棟198㎡焼損する。死者1人
H8.11.23	耶麻郡西会津町	製材所1棟539㎡焼損する。
H8.12. 5	喜多方市大坪	住家1棟162㎡焼損する。死者1人
H9. 1.15	耶麻郡塩川町	住家2棟、車庫1棟、物置1棟567㎡焼損する。負傷者6人
H9. 1.17	〃 高郷村	住家1棟、物置1棟281㎡焼損する。死者1人
H9. 1.22	〃 塩川町	住家1棟、作業小屋1棟232㎡焼損する。死者1人
H9. 9. 5	〃 高郷村	倉庫308㎡焼損する。
H9.10.12	〃 山都町	工場481㎡焼損する。
H9.10.16	喜多方市字古寺	共同住宅54㎡焼損する。死者1人
H9.11. 6	喜多方市字見頃道下	住家1棟75㎡焼損する。死者1人
H10. 2. 6	〃 字長内	住家2棟、非住家2棟193㎡焼損する。死者1人
H10. 4. 7	〃 豊川町	住家5棟、非住家4棟1,142㎡焼損する。
H10. 7.21	耶麻郡塩川町	住家1棟、非住家5棟695㎡焼損する。
H10. 9.29	喜多方市豊川町	住家1棟163㎡焼損する。死者1人

年 月 日	場 所	概 要
H11.12. 9	耶麻郡山都町	住家1棟、非住家2棟325㎡焼損する。
H12. 1.25	喜多方市字諏訪	住家3棟98㎡焼損する。死者1人
H12. 1.28	耶麻郡山都町	住家1棟159㎡焼損する。死者3人
H12. 1.31	喜多方市字さつきが丘	住家1棟106㎡焼損する。死者1人
H12. 6.13	耶麻郡西会津町	住家4棟、非住家4棟409㎡焼損する。
H13. 5.22	〃 塩川町	住家1棟75㎡焼損する。死者1人
H13. 9.17	喜多方市慶徳町	住家1棟252㎡焼損する。死者1人
H13.12.19	耶麻郡西会津町	住家1棟212㎡焼損する。死者1人
H14. 1.18	耶麻郡西会津町	住家2棟、非住家2棟463㎡焼損する。
H14. 3.24	喜多方市柳原	住家1棟85㎡焼損する。死者1人
H14. 6. 5	耶麻郡北塩原村	旅館1棟578㎡焼損する。
H14. 9. 1	耶麻郡山都町	住家1棟、非住家2棟538㎡焼損する。
H15. 4.16	喜多方市慶徳町	工場1棟500㎡焼損する。
H16. 3.24	耶麻郡西会津町	飲食店1棟463㎡焼損する。
H16. 4. 2	喜多方市松山町	工場1棟、事務所1棟420㎡焼損する。
H16. 7.31	耶麻郡西会津町奥川	住家1棟、非住家1棟675㎡焼損する。
H16.10.18	喜多方市豊川町	共同住宅1棟、置場1棟338㎡焼損する。
H17.2.5	耶麻郡塩川町	住家1棟、物置1棟505㎡焼損する。
H17.7.14	耶麻郡山都町	住家1棟、440㎡焼損する。
H18.4.13	喜多方市熊倉町	住宅2棟、納屋1棟435㎡焼損する。死者1人
H19.5.3	喜多方市豊川町	工場1棟444㎡焼損する。

年 月 日	場 所	概 要
H20.1.27	喜多方市塩川町	住家1棟167㎡焼損する。死者2人
H20.2.29	耶麻郡北塩原村	住家1棟140㎡焼損する。死者2人
H20.10.24	耶麻郡北塩原村	休業中のホテル3階建て2,697㎡焼損する。
H21.1.9	喜多方市桜ヶ丘	住家1棟65㎡焼損する。死者1人
H22.1.15	喜多方市塩川町	住家1棟231㎡焼損する。死者1人
H22.2.19	喜多方市塩川町	住家1棟216㎡焼損する。死者1人
H22.11.29	喜多方市塗物町	市立中学校265㎡焼損する。
H23. 2.18	耶麻郡西会津町	住家1棟253㎡焼損する。死者1人
H23. 3.21	喜多方市山都町	住家1棟171㎡焼損する。死者1人
H24. 3.11	喜多方市関柴町	住家1棟57㎡焼損する。死者1人
H24. 7. 3	喜多方字押切	休業中の博物館1,086㎡焼損する。
H24.12.26	喜多方市新道	住家1棟151㎡焼損する。死者1人
H25.3.9	喜多方市山都町	住家3棟249㎡焼損する。死者1人
H26.5.1	耶麻郡西会津町	紙製品工場を表面積3㎡焼損する。
H26.6.22	喜多方市塩川町	飲食店併用住宅を253㎡焼損する。
H27.2.24	西会津町尾野本	住宅1棟457.4㎡焼損する。
H28.1.14	耶麻郡北塩原村	住宅兼民宿を表面積5㎡焼損する。
H28.9.2	喜多方市高郷町	倉庫1棟全焼、類焼4棟表面積47.17㎡焼損する。
H28.10.19	喜多方市塩川町	店舗兼工場を表面積5.74㎡焼損する。
H29.1.23	西会津町野沢	自動車工場内集塵機のフィルターを焼損する。
H29.2.21	喜多方市塩川町	小売店舗内のソフトちり紙及びその他商品を焼損したもの。

年 月 日	場 所	概 要
H29.3.2	喜多方市熊倉町	パソコン製造工場内で使用しているボイラーが焼損したものの。
H29.4.4	喜多方市豊川町	旅館内の住宅部分から出火し、5.7㎡を焼損したものの。
H29.4.19	喜多方市山都町	粗大ゴミ処理施設の内容物を焼損したものの。
H30.1.6	喜多方市熱塩加納町	住家1棟136㎡焼損する。死者2名
H31.1.13	喜多方市南町	自動車販売店の洗車機の凍結防止ヒーターから出火したものの。
H31.3.4	西会津町尾野本	カセットコンロの火が着衣着火し1名死亡。12㎡を焼損する。
R1.7.14	喜多方市豊川町	水中ヒーターが可燃物に接触し出火したものの。
R1.7.17	喜多方市松山町	カセットコンロの火が着衣着火し1名死亡。120㎡を焼損する。
R1.9.3	喜多方市松山町	板金塗装中、ライターの火がシンナーに引火し230㎡焼損する。
R1.9.9	喜多方市上三宮町	住家1棟102㎡焼損する。死者1名
R1.9.15	喜多方市熱塩加納町	住家3棟585㎡焼損する。死者1名
R1.10.19	喜多方市慶徳町	住家3棟208㎡焼損する。死者2名
R1.11.6	喜多方市豊川町	工場内でグラインダー作業中、火花が飛び5㎡焼損する。
R1.11.27	北塩原村大塩	薪ストーブにより小屋が焼損し1名死亡する。
R2.6.9	喜多方市松山町	下草2. 4a焼損、1名死亡
R2.8.30	山都町小舟寺	粗大ゴミ処理施設の集塵装置内コンベヤベルトを焼損したものの。
R2.11.27	喜多方市本仲町	スーパー駐車場に停車中の車両1台焼損。
R2.12.3	喜多方市本仲町	冷凍食品陳列ケース 除霜ヒーター配線焼損する

救 急



1. 救急出動状況

令和2年

月別 区分		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	計
救 急 出 動	件数	244	206	205	187	204	221	195	253	214	218	233	221	2,601
	台数	244	206	205	187	204	221	195	253	214	218	233	221	2,601
	人員	731	618	644	599	619	655	585	767	650	660	713	667	7,908

2. 署別救急出動件数・搬送人員

令和2年

事故種別 署所別 出動件数 搬送人員		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 輸 送	そ の 他
合 計	出動件数	2,601	4		2	120	21	7	439	2	28	1,795	183			
	不搬送 件数	128	2			5			21		6	94				
	搬送人員	2,483	2		2	119	21	8	420	2	22	1,704	183			
喜 多 方 消 防 署	出動件数	1,907	3		2	91	17	7	275	1	22	1,338	151			
	不搬送 件数	81	2			4			11		3	61				
	搬送人員	1,835	1		2	91	17	8	266	1	19	1,279	151			
北 塩 原 分 署	出動件数	108				7	1		41		2	55	2			
	不搬送 件数	12							3		1	8				
	搬送人員	97				7	1		38		1	48	2			
山 都 分 署	出動件数	243				10	1		51		1	178	2			
	不搬送 件数	15							4			11				
	搬送人員	228				10	1		47		1	167	2			
西 会 津 消 防 署	出動件数	343	1			12	2		73	1	3	224	28			
	不搬送 件数	20	1			1			3		2	14				
	搬送人員	323	1			11	2		69	1	1	210	28			

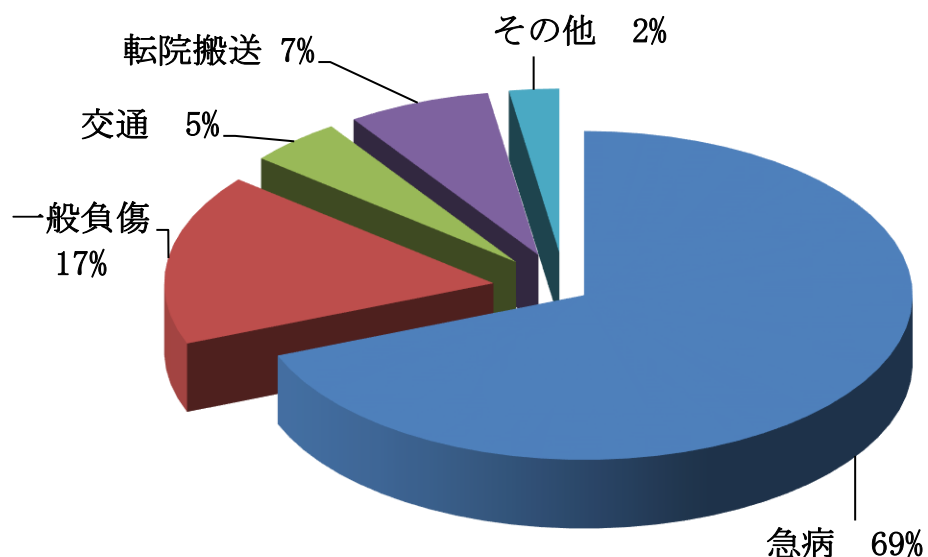
3. 事故種別救急出動件数（月別）

令和2年

月 別 事故種別		合 計	小 計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
急 病		1,795		175	150	147	133	131	151	139	176	139	143	166	145
一 般 負 傷		439		46	34	32	30	36	32	28	37	36	43	38	47
交 通		120		6	5	6	6	14	13	9	15	19	10	9	8
転 院 搬 送		183		13	15	14	13	19	19	12	16	15	17	16	14
そ の 他	労 働 災 害	64	21	2		4	2	2		2	2		2	2	3
	自 損 行 為		28	2	2	2	1	1	5	2	3	5	2	1	2
	運 動 競 技		7							3	1		1		2
	加 害		2								1			1	
	そ の 他														
	火 災		4				1	1	1		1				
	自 然 災 害														
	水 難		2				1				1				
	医 師 搬 送														
	資器材輸送														
合 計		2,601		244	206	205	187	204	221	195	253	214	218	233	221

事故種別救急出動件数割合

令和2年



4. 事故種別出動件数 (時間別)

令和2年

事故種別 時間別		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計		2,601	4		2	120	21	7	439	2	28	1,795	183
時 間 別 内 訳	0～2	84				1			9	1	1	70	2
	2～4	70				1			6			63	
	4～6	96				3			10		1	82	
	6～8	231				8	1		43		5	174	
	8～10	357			1	19	4		62		6	253	12
	10～12	321	2			15	5		57		5	186	51
	12～14	305				13	2	1	54		4	186	45
	14～16	254	1			20	6	3	41	1	1	156	25
	16～18	269				19	2	2	52			161	33
	18～20	281				17		1	47		1	203	12
	20～22	193	1		1	3	1		36		4	144	3
	22～24	140				1			22			117	

5. 市町村別出動件数（事故種別）

令和2年

市町村別 事故種別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他
喜 多 方 市	2,089	2		2	91	18	7	320	1	22	1,473	153			
北 塩 原 村	167	1			16	1		47		3	97	2			
西 会 津 町	342	1			12	2		71	1	3	224	28			
高 速 道 路	2				1						1				
管 外	1							1							
合 計	2,601	4		2	120	21	7	439	2	28	1,795	183			

6. 市町村別出動件数（月別）

令和2年

市町村別 月別	合 計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
喜 多 方 市	2,089	188	169	169	156	167	175	162	198	167	173	186	179
北 塩 原 村	167	22	12	14	6	4	13	9	20	18	19	16	14
西 会 津 町	342	34	25	22	25	33	33	24	33	29	25	31	28
高 速 道 路	2								2				
管 外	1										1		
合 計	2,601	244	206	205	187	204	221	195	253	214	218	233	221

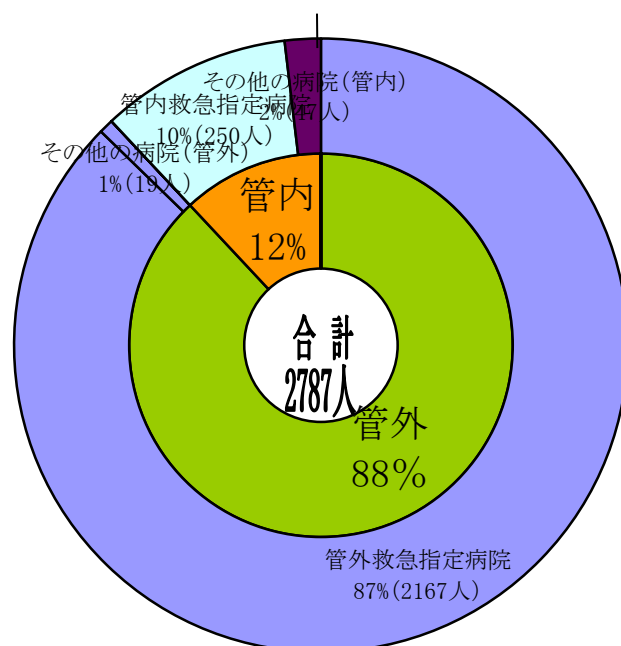
7. 市町村別搬送人員（事故種別）

令和2年

事故種別 市町村別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 等 輸 送	そ の 他
喜 多 方 市	2,005	1		2	92	18	8	306	1	20	1,404	153			
北 塩 原 村	155				15	1		46		1	90	2			
西 会 津 町	321	1			11	2		68	1	1	209	28			
高 速 道 路	2				1						1				
管 外															
合 計	2,483	2		2	119	21	8	420	2	22	1,704	183			

8. 搬送先医療機関

令和2年



9. 事故種別搬送人員（程度別）

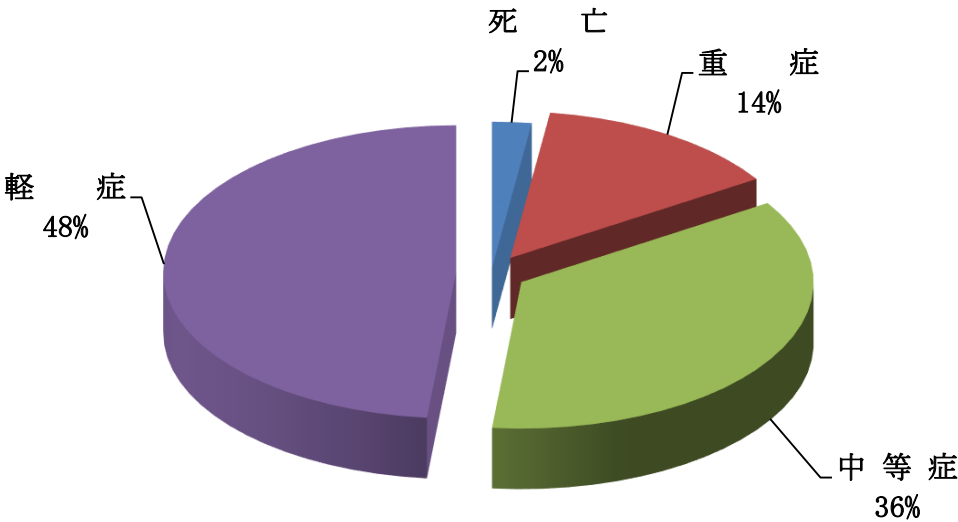
令和2年

事故種別 程度別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	
												転院搬送	その他
死亡	54	1		1		1		9		2	40		
重症	342			1	9	4		52		2	231	43	
中等症	885				32	8	2	134	2	13	587	107	
軽症	1,202	1			78	8	6	225		5	846	33	
合計	2,483	2		2	119	21	8	420	2	22	1,704	183	

死亡 初診時において、死亡が確認されたもの。
 重症 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
 中等症 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。
 軽症 傷病の程度が入院加療を必要としないもの。

程度別搬送人員割合

令和2年



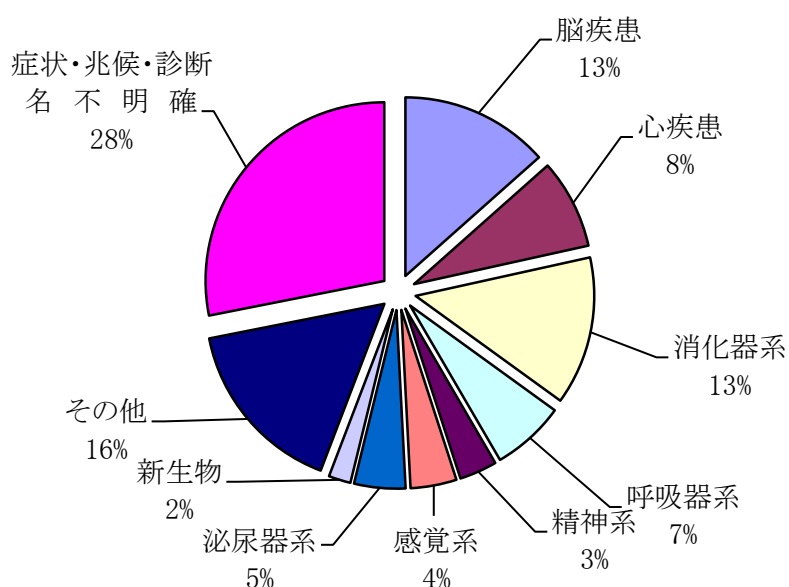
10. 急病に係る疾病分類別・傷病程度別搬送人員

令和2年

傷病程度 疾病分類		合 計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症
循環系	脳 疾 患	229	1	107	82	39
	心 疾 患 等	138	11	39	36	52
消 化 器 系		229		12	118	99
呼 吸 器 系		113	1	26	54	32
精 神 系		58		3	5	50
感 覚 系		71		2	9	60
泌 尿 器 系		79		3	31	45
新 生 物		34	2	5	21	6
そ の 他		274	5	15	113	141
症状・兆候・診断 名 不 明 確		479	20	19	118	322
合 計		1,704	40	231	587	846

急病に係る疾病分類別搬送人員

令和元年/平成31年



11. 医師の現場出場件数

令和2年

事 故 種 別	急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他	合 計
件 数	0	0	0	0	0

12. 事故種別搬送人員（年齢別）

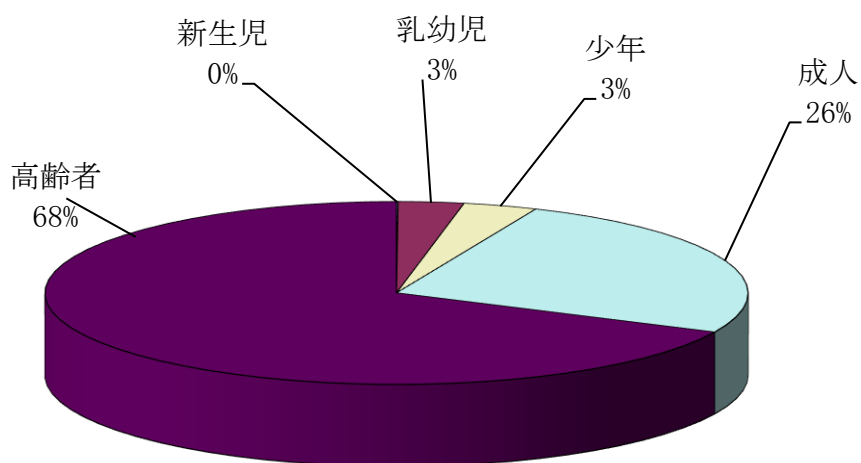
令和2年

事故種別 年齢別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	その他	
												転 院 搬 送	そ の 他
新 生 児													
乳 幼 児	55				1			31			23		
少 年	69				4		7	12		2	43	1	
成 人	657	1			67	13	1	91	2	13	434	35	
高 齢 者	1,702	1		2	47	8		286		7	1,204	147	
合 計	2,483	2		2	119	21	8	420	2	22	1,704	183	

新 生 児 : 生後28日以内の者
 乳 幼 児 : 生後29日以上満7才未満の者
 少 年 : 満7才以上満18才未満の者
 成 人 : 満18才以上満65才未満の者
 高 齢 者 : 満65才以上の者

13. 年齢別搬送人員割合

令和2年



14. 救急隊員の行った現場応急処置件数

令和2年

事故種別		急 病	交 通	一 般 負 傷	そ の 他	合 計
応急処置等対象搬送人数		1,704	119	420	240	2,483
応 急 処 置 等 項 目	止 血	17	16	62	7	102
	固 定	5	64	79	19	167
	人 工 呼 吸	25		2	2	29
	胸 骨 圧 迫	41		4	3	48
	心 肺 蘇 生	43		9	4	56
	酸 素 吸 入	329	8	21	51	409
	気 道 確 保	62	1	11	5	79
	うち気道確保Ⅰ					0
	うち気道確保Ⅱ	2		1		3
	うち気道確保Ⅲ	24		7	2	33
	うち気道確保Ⅳ	1		4	1	6
	保 温	766	48	183	89	1,086
	被 覆	12	24	93	20	149
	在 宅 療 法	3		1	1	5
	除 細 動	7			1	8
	静 脈 路 確 保	66	3	10	6	85
	薬 剤 投 与	22		2	1	25
	血 圧 測 定	1,651	118	393	234	2,396
	心音・呼吸音測定	1,533	111	352	213	2,209
	血中酸素飽和濃度	1,649	118	404	234	2,405
	心 電 図	1,458	75	209	192	1,934
	そ の 他	1,370	95	346	174	1,985
合 計		9,059	681	2,181	1,256	13,177

・気道確保の欄

※気道確保Ⅰは、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数。

※気道確保Ⅱは、喉頭鏡・鉗子等を使用して異物除去を行った件数。

※気道確保Ⅲは、救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った件数。

※気道確保Ⅳは、救急救命士が気管挿管処置を実施して気道確保を行った件数。

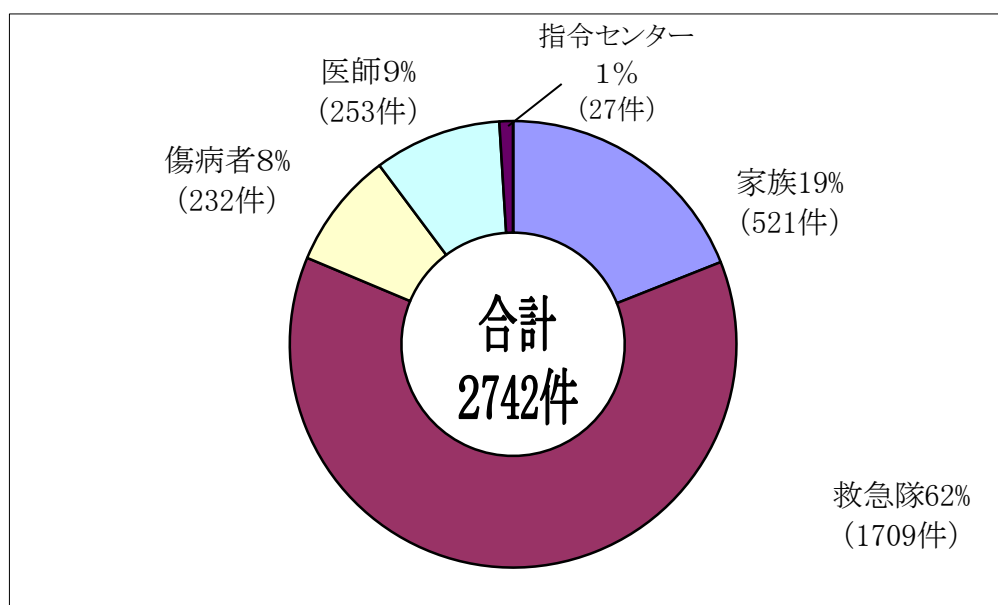
15. 事故種別不搬送件数

令和2年

事故種別 不搬送理由	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 輸 送	そ の 他
緊急性なし	38				3			8			27				
傷病者なし	4				1			1			2				
拒否	28				1			4			23				
めいてい	1										1				
死亡	49	2						3		6	38				
現場処置															
誤いたずら															
その他	8							5			3				
合計	128	2			5			21		6	94				

16. 医療機関選定者

令和2年



17. 過去10年間の救急出動件数及び搬送人

年 署所別 出動件数 搬送人員		平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	平成 31 年	令和 2 年
合 計	出 動 件 数	2,969	2,952	3,014	2,959	3,036	2,874	2,983	3,152	2,923	2,601
	不 搬 送 件 数	217	236	176	225	298	199	186	142	156	128
	搬 送 人 員	2,792	2,768	2,868	2,768	2,764	2,704	2,823	3,043	2,787	2,483
喜 多 方 消 防 署	出 動 件 数	2,014	2,018	2,090	2,085	2,136	2,014	2,114	2,300	2,059	1,907
	不 搬 送 件 数	138	169	105	155	210	138	115	98	85	81
	搬 送 人 員	1,902	1,882	2,009	1,954	1,944	1,900	2,016	2,226	1,992	1,835
北 塩 原 分 署	出 動 件 数	200	152	154	147	152	173	173	162	165	108
	不 搬 送 件 数	18	17	18	17	13	19	12	5	15	12
	搬 送 人 員	186	138	138	132	143	155	162	161	150	97
山 都 分 署	出 動 件 数	320	344	348	325	360	309	309	297	334	243
	不 搬 送 件 数	31	28	24	27	45	25	34	15	30	15
	搬 送 人 員	294	324	325	301	318	285	279	285	304	228
西 会 津 消 防 署	出 動 件 数	435	438	422	402	388	378	387	393	365	343
	不 搬 送 件 数	30	22	29	26	30	17	25	24	26	20
	搬 送 人 員	410	424	396	381	359	364	366	371	341	323

18. ドクターカー要請状況

市町村別件数 令和2年

事故種別 署所別	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
喜 多 方 署	72	1		2	7	3		4		2	53	
北 塩 原 分 署	5							2			3	
山 都 分 署	6							2			4	
西 会 津 署	12				1			3		1	7	
合 計	95	1		2	8	3		11		3	67	

19. 普通救命講習会の開催及び受講者状況

令和2年

月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
普通救命講習会	回数	4	8	1			1	13	2	5	5	8	5	52
	人数	121	70	5			3	103	17	83	58	106	39	605
救命入門コース	回数													
	人数													
一般救急講習会	回数	1	2		2		2	5		1	2	3	2	20
	人数	15	22		34		90	85		6	33	31	30	346

講習会内容・・・心肺蘇生法・AEDの使用法・異物除去法・止血法等

救 助



1. 救助出動状況

令和2年

月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合
区 分		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	計
救 助 出 動	件 数	1	1	2	1	1	6	1	3	4	3		1	24
	台 数	3	4	7	3	2	24	3	12	7	8		4	77
	人 員	10	11	24	9	9	76	9	31	24	24		13	240

2. 事故種別救助活動状況

令和2年

事故種別		火	交	水	自	機	建	ガ	破	そ	合
区 分		災	通	難	然	械	物	ス	裂	の	計
出 動 件 数		1	9	2		1				11	24
活 動 件 数		1	3	2						8	14
出 動 人 員	兼任救助隊員		35	9		3				49	96
	消 防 隊 員	11	30	2		5				26	74
	救 急 隊 員	3	35	6		3				33	80
	消 防 団 員										
	合 計	14	100	17		11				108	250
出 動 車 両	救助工作車		8	2		1				5	16
	ポンプ車	2	6	1		1				3	13
	指揮車指令車	1	4							20	25
	救 急 車	1	12	2		1				11	27
	そ の 他										
	合 計	4	30	5		3				39	81
【管外出動】											
	兼任救助隊員									3	3
	消 防 隊 員									1	1
	救 急 隊 員									2	2
	消 防 団 員										
	合 計									6	6
	救助工作車										
	ポンプ車										
	指揮車指令車									2	2
	救 急 車									1	1
	そ の 他										
	合 計									3	3

通信



1. 災害等通報取扱状況(消防指令センター)

令和2年1月1日～令和2年12月31日

		消防指令センター				センター計	署所覚知		総計
		119	IP 119	携帯 119	その他		駆け込み	その他	
災害等	火災	18	33	117	4	172	2	8	182
	救 急	2,950	3,244	4,009	66	10,269	353	287	10,909
	救 助	20	5	71	9	105	0	6	111
	その他災害	94	31	190	53	368	9	101	478
災害等 計		3,082	3,313	4,387	132	10,914	364	402	11,680
いたずら等	いたずら	31	0	9	0	40	0	0	40
	間違い	178	47	310	15	550	5	0	555
いたずら等 計		209	47	319	15	590	5	0	595
その他	他消防本部へ転送	0	1	15	0	16	0	0	16
	その他	1,427	518	682	25	2,652	444	1	3,097
その他 計		1,427	519	697	25	2,668	444	1	3,113
総 計		4,718	3,879	5,403	172	14,172	813	403	15,388

※ 「その他災害」…危険物漏洩、ガス漏洩、非火災、搜索、安全・支援、誤報、自火報鳴動、調査等。

※ 「他消防本部へ転送」…119通報を受理後、当該事案の管轄にあたる消防本部へ転送した件数です。

※ 「その他」…119通報による問合せ、無応答の他、回線試験や通報訓練を受理した件数です。

※ 「その他」の欄中、「問合せ」「試験」の署所覚知(駆け込み)の件数は、駆け込み通報装置からの問合せ及び駆け込み通報装置の機能試験の回数が計上されています。

※ 平成31年1月1日から令和元年12月31日までの会津若松消防本部管内の通報件数も含まれます。

2. 災害等通報取扱状況(喜多方消防本部管内)

令和2年1月1日～令和2年12月31日

		消防指令センター				センター計	署所覚知		総計
		119	IP 119	携帯 119	その他		駆け込み	その他	
災害等	火災	4	10	25	0	39	0	3	42
	救 急	741	773	797	11	2,322	164	151	2,637
	救 助	5	0	16	2	23	0	3	26
	その他災害	21	4	36	11	72	2	34	108
災害等 計		771	787	874	24	2,456	166	191	2,813
いたずら等	いたずら	3	0	0	0	3	0	0	3
	間違い	43	15	48	0	106	1	0	107
いたずら等 計		46	15	48	0	109	1	0	110
その他	他消防本部へ転送	0	0	2	0	2	0	0	2
	その他	405	136	171	0	712	123	0	835
その他 計		405	136	173	0	714	123	0	837
総 計		1,222	938	1,095	24	3,279	290	191	3,760

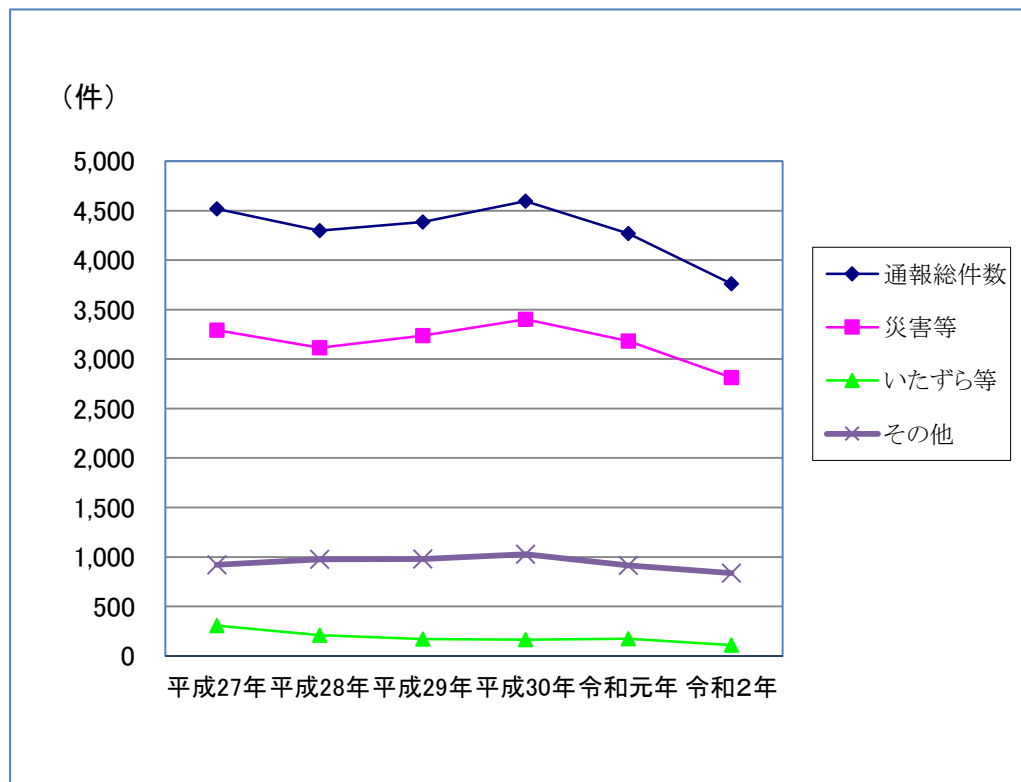
※ 「その他災害」…危険物漏洩、ガス漏洩、非火災、捜索、安全・支援、誤報、自火報鳴動、調査等。

※ 「他消防本部へ転送」…119通報を受理後、当該事案の管轄にあたる消防本部へ転送した件数です。

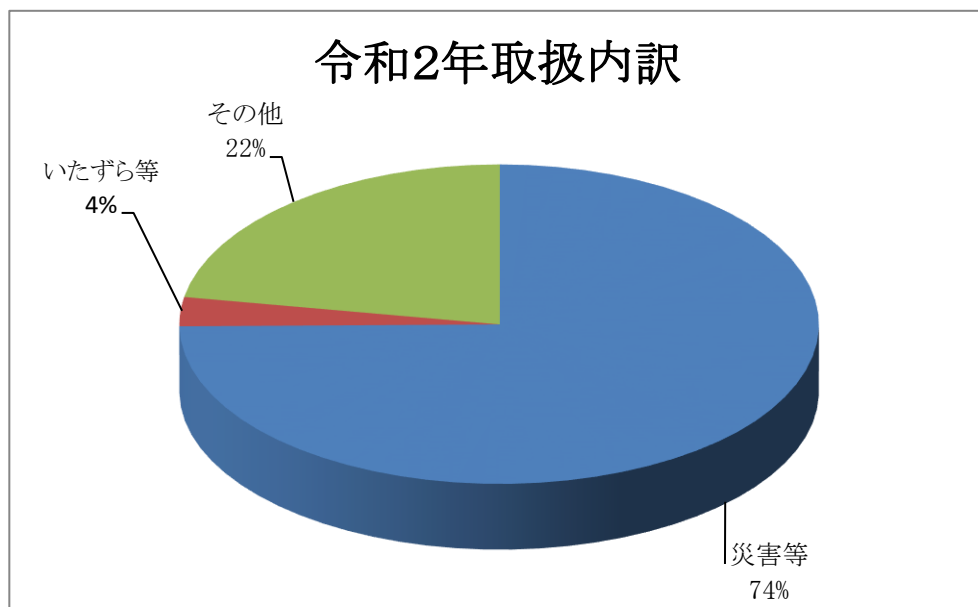
※ 「その他」…119通報による問合せ、無応答の他、回線試験や通報訓練を受理した件数です。

※ 「その他」の欄中、「問合せ」「試験」の署所覚知(駆け込み)の件数は、駆け込み通報装置からの問合せ及び駆け込み通報装置の機能試験の回数が計上されています。

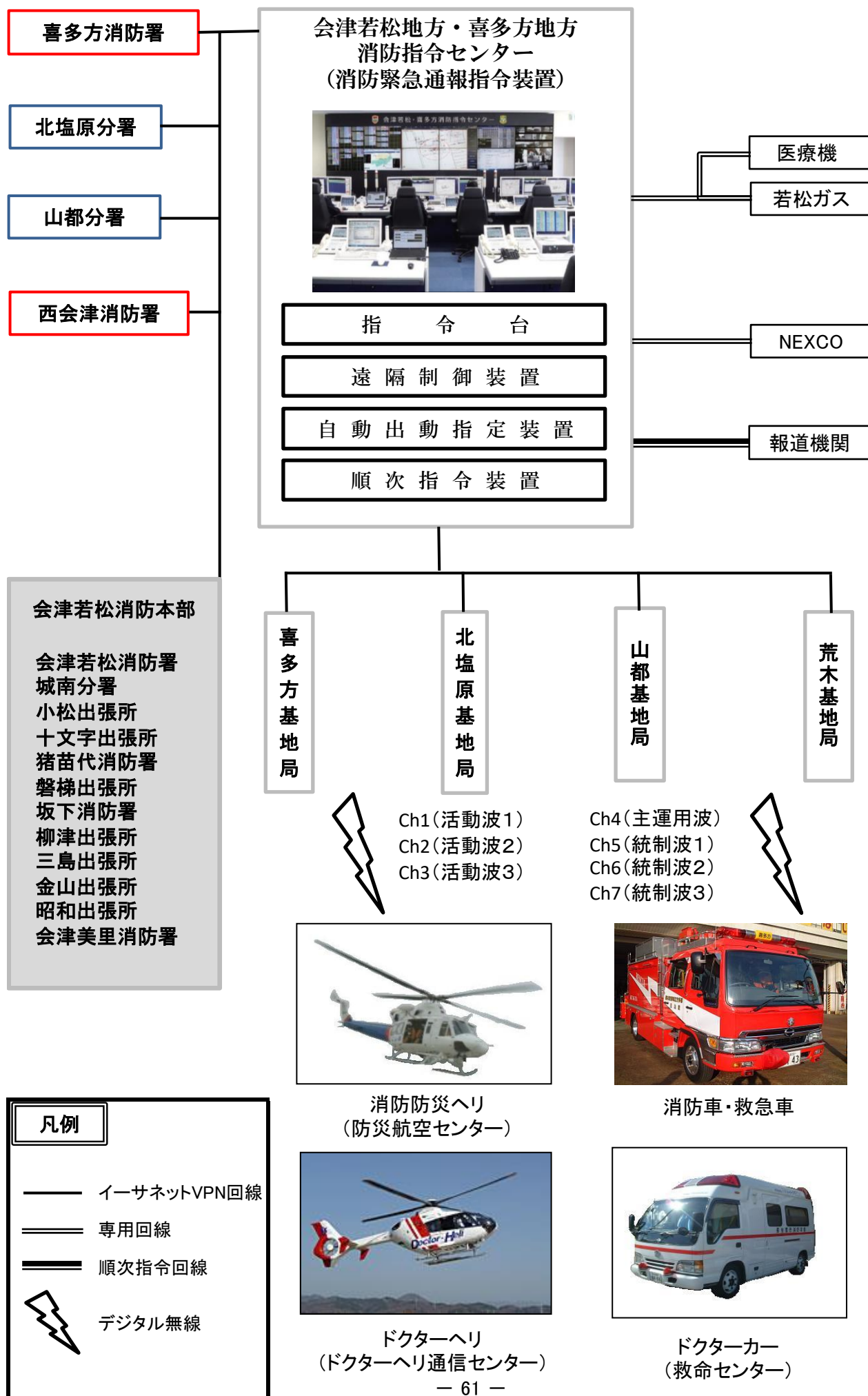
3. 災害等通報取扱の推移(喜多方消防本部管内)



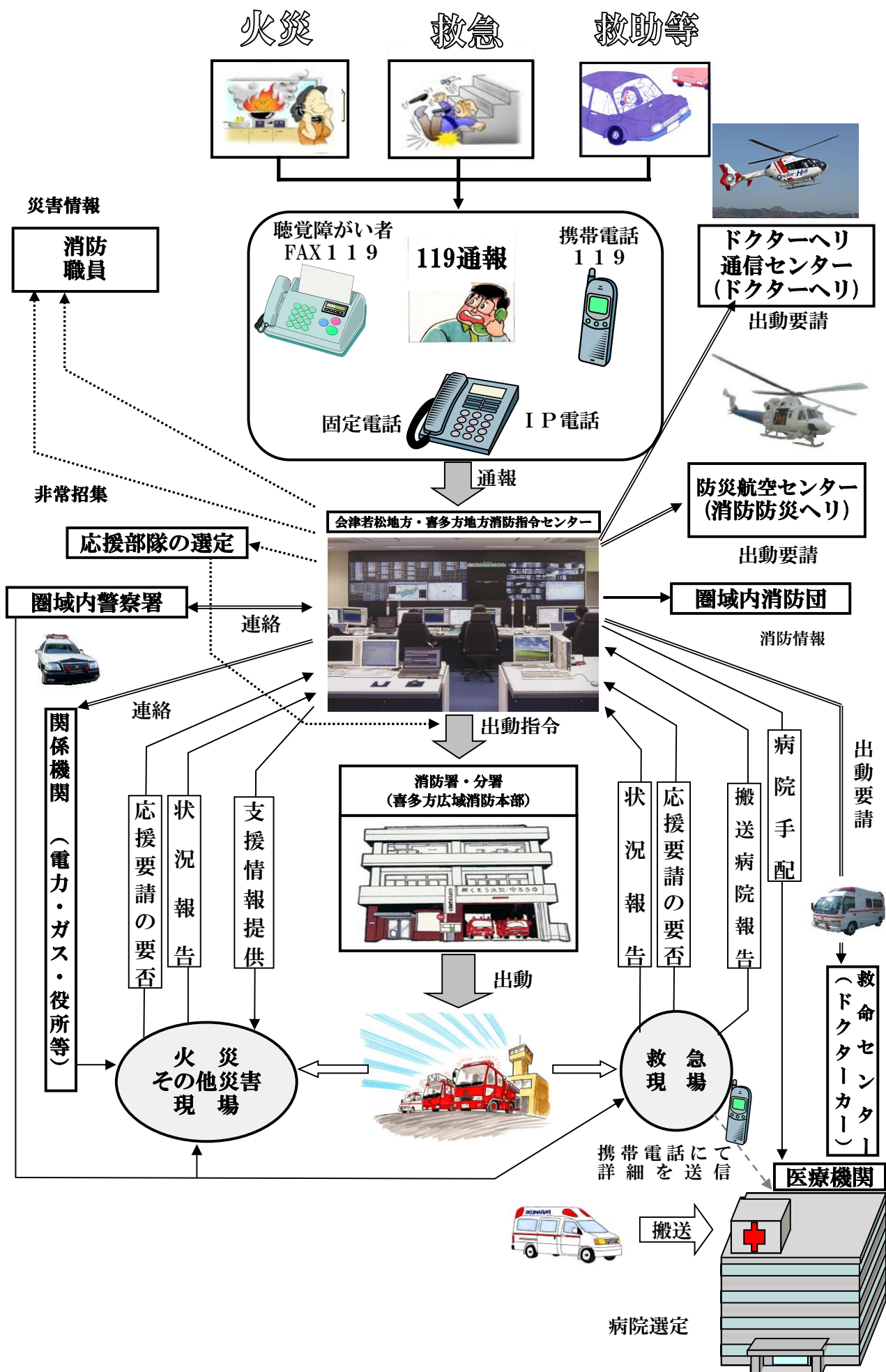
年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
通報総件数	4,519	4,298	4,387	4,595	4,270	3,760
災害等	3,292	3,113	3,236	3,403	3,182	2,813
いたずら等	305	208	172	165	174	110
その他	922	977	979	1,027	914	837



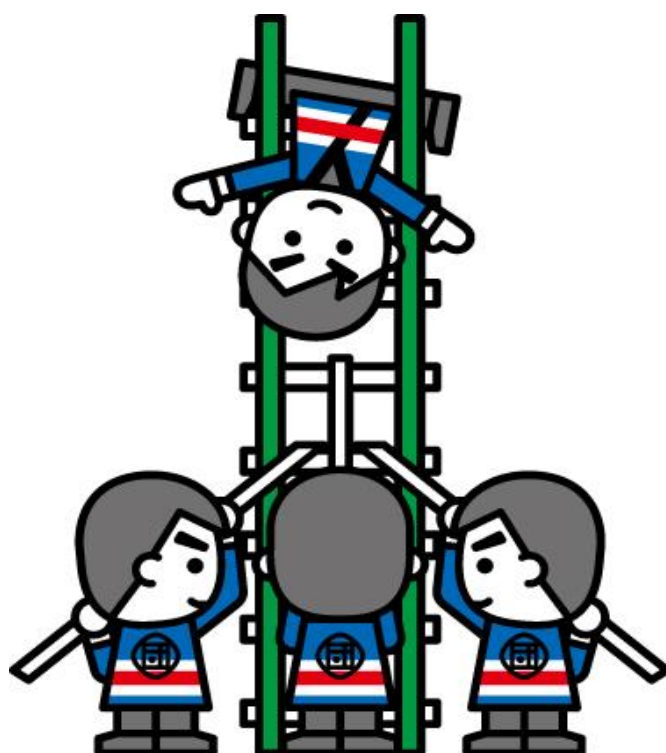
4. 通信系統図



5. 災 害 通 信 体 系



消防団



1. 市町村別消防団現勢

令和3年4月1日現在

区分 市町村別	分 団 数	団 員 数	ポンプ自動車	小型動力ポンプ	小型動力ポンプ 積 載 車
喜 多 方 市	19	1,236	23	141	56
北 塩 原 村	4	150	4	12	12
西 会 津 町	5	355	6	48	23
合 計	28	1,741	33	201	91

2..市町村別階級別消防団員数調

令和3年4月1日現在

階級別 市町村別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	(小 幹 部 員) 計	団 員	合 計
喜 多 方 市	1	6	35	19	58	234	353	883	1,236
北 塩 原 村	1	1	9	4	4	38	57	93	150
西 会 津 町	1	1	8	5	37	49	101	254	355
合 計	3	8	52	28	99	321	511	1,230	1,741

3..消防団報酬調

令和3年4月1日現在 (単位:円)

階級別 市町村別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	副 班 長	運 転 要 員	団 員	出 場 手 当
喜 多 方 市	220,000	177,000	109,000	80,000	62,000	41,000	41,000	29,000	29,000	1,600
北塩原村	188,000	132,000	92,000	70,000	67,000	56,000		46,000	32,000	
西会津町	187,300	129,300	94,400	69,000	55,300	45,700		42,400	32,000	2,000

4. 福島県消防協会喜多方支部構成一覽表

